

令和6年度沖縄振興特別推進交付金
沖縄県実施分

事後評価結果総括表

令和8年3月
沖 縄 県

目 次

<u>1 沖縄振興特別推進交付金の評価について</u>	P01
(1) 事後評価の基本的な考え方	
(2) 評価の対象事業	
(3) 成果目標について	
(4) 事後評価の方法	
<u>2 沖縄振興特別推進交付金の事後評価の検証</u>	
(1) 成果目標の達成状況について (H24～R6)	P03
(2) 令和6年度事業の評価結果について	P04
・ 令和6年度事業評価結果一覧表	
・ 令和6年度事業評価結果個別事業	
(3) 令和5年度事業の評価結果について	P38
・ 令和5年度事業評価結果一覧表	
・ 令和5年度事業評価結果個別事業	
(4) 事業完了後における検証 (後年度効果発現事業)	P43

1 沖縄振興特別推進交付金の評価について

(1) 事後評価の基本的な考え

沖縄振興特別推進交付金は、沖縄の実情に即してよりの確かつ効果的に施策を展開するため、沖縄振興に資する事業を沖縄県が自主的な選択に基づいて実施できる制度として、沖縄振興特別措置法により創設されたところである。

本交付金を活用した事業の推進にあたっては、時代潮流や地域特性を踏まえた沖縄の優位性・潜在力を見極めつつ、事業が効果的・効率的なものであるか等を勘案して、事業の選択と集中を図るとともに、必要に応じて見直し・改善を行うことが必要である。

このため、沖縄振興特別推進交付金交付要綱において、交付対象事業の成果目標を設定し、成果目標の達成状況について評価を行い、これを公表するとともに、大臣に報告することとされている。

(2) 評価の対象事業

今回の事後評価の対象事業は、令和6年度分の176事業、令和5年度からの繰り越し分8事業、後年度に効果が発現する22事業となっている。

なお、令和6年度分のうち令和7年度に繰り越された12事業については、当該事業が完了した翌年度に評価を実施することとしている。

(3) 成果目標の設定

沖縄振興特別推進交付金を活用した事業に係る成果目標の設定については、事業効果をわかりやすく示す観点から、可能な限り定量的に設定するよう努めているところである。

また、事業が完了した後年度に効果が発現する事業については、事業完了後における効果発現年度及び定量的な成果目標を設定している。

(4) 事後評価の方法

事後評価の方法は、事業毎に設定した成果目標（指標）の目標値に対する実績値を達成率（％）に換算（小数点以下は四捨五入）した上で、「達成」「概ね達成」「一部達成」「未達成」の4段階で評価している。

また、各事業におけるPDCAを適切に行う観点から、事業単位で「検証シート」を作成し、取組の検証（推進上の留意点、改善余地の検証）を行うことで、今後も必要に応じた事業の見直しや改善を図りながら、より効果的・効率的に事業を実施していく。

<評価基準>

- ・算出された達成率については、目標毎に以下の4段階で評価する。
- 「◎：達成」：達成率が100%
- 「○：概ね達成」：達成率が70%以上100%未満
- 「△：一部達成」：達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
- 「未：未達成」：達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合

※定性的な成果目標については、達成の場合100%とし、それ以外は0%とする。
 ※1事業で複数の目標がある場合は、平均値を当該事業の達成率とする。

<参考：検証シート>

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】						
事業番号・事業名			新沖縄経済戦略プラン 基本計画第4年度目標 (R4年)			
担当部署名	事業実施 (予定)年度	年度	沖縄振興基本方針 該当目標			
事業内容	Plan					
事業実施年度	□当年度 □後年度(年度)					
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()					
予算額・執行額 (単位:千円)		R4年度	R4年度(繰越)	R5年度	R5年度(繰越)	R6年度
	(a) 当初予算額					
	(b) 予算残額					
	(c) 増減額(b-a)	0	0	0	0	0
	(d) 前年度繰越額					
	A. 計(b+d)	0	0	0	0	0
B. 執行済額 うち交付金充当額						
	C. 次年度繰越額			0	0	0
	執行率(%) (B/A)					
予算の状況の説明						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)	進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		目標				
		実績				
成果目標 (指標) 及び達成状況	R5成果(指標)	進捗状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
		目標				
		実績				
達成状況の説明						

進捗上の留意点(進捗上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)					
現状分析 → Check → 効率化・改善策の検討						
今後の取り組み方針						
次年度のPlan ← Action → 改善策の具体的な取り組み方法						
資金の確保 (資金の受け取り先が何を行っていているかについて補足する)(単位:千円)						
総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
0	0	0	0	0	0	0
評価	点検項目	評価に関する説明				
交付金の使途	支出先の選定方法は妥当か。					
交付金の使途	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○				
交付金の使途	受益者との負担関係は妥当であるか。	○				
交付金の使途	費目・用途が事業目的に照し、真に必要なものに限定されているか。					

2 沖縄振興特別推進交付金の評価について

(1) 成果目標の達成状況について

令和6年度の成果目標の達成状況については、成果目標の約9割が「達成」又は「概ね達成」の評価となっており、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる各施策を着実に推進することができた。

また、平成24年度から令和6年度までの成果目標の達成状況を整理すると、各年度において、成果目標の約8割以上が「達成」又は「概ね達成」の評価となっており、引き続き、成果目標の達成率の向上に努める。

年度	評価 事業数	評価			
		達成	概ね達成	一部達成	未達成
平成24年度	212	162 (76%)	29 (14%)	5 (2%)	16 (8%)
平成25年度	241	171 (71%)	39 (16%)	9 (4%)	22 (9%)
平成26年度	267	177 (66%)	48 (18%)	6 (2%)	36 (14%)
平成27年度	266	177 (67%)	41 (15%)	16 (6%)	32 (12%)
平成28年度	277	194 (70%)	50 (18%)	10 (4%)	23 (8%)
平成29年度	257	165 (64%)	57 (22%)	13 (5%)	22 (9%)
平成30年度	233	164 (70%)	52 (22%)	8 (3%)	9 (4%)
令和元年度	240	153 (64%)	63 (26%)	7 (3%)	17 (7%)
令和2年度	203	113 (56%)	40 (20%)	25 (12%)	25 (12%)
令和3年度	205	123 (60%)	41 (20%)	15 (7%)	26 (13%)
令和4年度	181	100 (55%)	50 (28%)	11 (6%)	20 (11%)
令和5年度	179	102 (57%)	55 (31%)	9 (5%)	13 (7%)
令和6年度	176	113 (64%)	48 (27%)	10 (6%)	5 (3%)

※()は評価事業における評価結果別の割合。

(2) 令和6年度事業の評価結果について

令和6年度の沖縄振興特別推進交付金交付対象事業の成果目標の達成状況は、今回事後評価を行った176事業のうち、「達成」及び「概ね達成」が161事業（91%）、「一部達成」が10事業（6%）、「未達成」が5事業（3%）となっている。なお、令和7年度へ繰り越した12事業については、当該事業が完了した翌年度に評価を実施することとしている。

評価対象 事業数	評価 事業数	達成	概ね達成	一部達成	未達成	繰越
188	176 (100%)	113 (64%)	48 (27%)	10 (6%)	5 (3%)	12

※（ ）は評価事業における結果別の割合

【参考：令和5年度事業の評価結果（令和5年度事後評価実施時点の状況）】

評価対象 事業数	評価 事業数	達成	概ね達成	一部達成	未達成	繰越
188	179 (100%)	102 (57%)	55 (31%)	9 (5%)	13 (7%)	9

※（ ）は評価事業における結果別の割合

約9割の事業については、成果目標が「達成」又は「概ね達成」の評価となっており、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる各施策の推進に寄与することができた。

令和5年度事業の評価結果と比較すると、「達成」及び「概ね達成」の割合は3ポイントの増加、「一部達成」の割合は1ポイントの増加、「未達成」の割合は4ポイントの減少となっている。

沖縄県としては、本評価の結果を踏まえ、必要に応じ、事業の見直し・改善を図りながら、より効果的・効率的に事業を実施し、沖縄振興の取組を推進していく。

令和6年度事業評価結果一覧表（新・沖縄21世紀ビジョン基本計画基本施策別）

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画基本施策	評価対象 事業数	評価					線越
		事業数	達成	概ね達成	一部達成	未達成	
将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して							
(1) 世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成	3	3	2	1	0	0	0
(2) 自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用	4	4	3	1	0	0	0
(3) 持続可能な海洋共生社会の構築	3	3	2	1	0	0	0
(4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展	13	13	8	5	0	0	0
(5) 悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成	3	0	0	0	0	0	3
計	26	23	15	8	0	0	3
将来像Ⅱ：心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して							
(1) 子どもの貧困の解消に向けた総合的な支援の推進	5	5	3	2	0	0	0
(2) 誰もが安心して子育てができる環境づくり	6	5	3	0	2	0	1
(3) 健やかな暮らしと安心を支える充実した医療提供体制の確保	6	6	5	1	0	0	0
(4) あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり	1	1	1	0	0	0	0
(5) 高齢者・障害者等を支える福祉サービスとセーフティネットの充実	1	1	0	1	0	0	0
(6) 多様性を尊重する共助・共創社会の実現	2	2	2	0	0	0	0
(7) 安全・安心・快適に暮らせる生活基盤の充実・強化	0	0	0	0	0	0	0
(8) 離島・過疎地域における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出	7	6	2	3	1	0	1
(9) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決	2	2	2	0	0	0	0
計	30	28	18	7	3	0	2
将来像Ⅲ：希望と活力にあふれる豊かな島を目指して							
(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化	8	8	7	1	0	0	0
(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革	21	21	12	9	0	0	0
(3) デジタル社会を支える情報通信関連産業の高度化・高付加価値化	6	6	1	3	0	2	0
(4) アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点の形成と臨空・臨港型産業の集積	7	7	5	1	0	1	0
(5) 科学技術イノベーションの創出と次世代を担う持続可能な産業の振興	9	9	9	0	0	0	0
(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出	3	3	2	0	1	0	0
(7) 亜熱帯海洋性気候を生かした持続可能な農林水産業の振興	29	26	17	6	3	0	3
(8) 地域を支える第2次産業と県産品の振興	4	4	2	1	0	1	0
(9) 世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成	2	2	0	2	0	0	0
(10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興	2	2	2	0	0	0	0
(11) 誰もが安心して働ける環境づくりと多様な人材の活躍促進	8	8	4	4	0	0	0
(12) 持続可能な発展と県民生活を支える社会基盤の高度化及びネットワークの形成	2	1	0	0	1	0	1
(13) 駐留軍用地跡地の有効利用の推進	2	2	2	0	0	0	0
計	103	99	63	27	5	4	4
将来像Ⅳ：世界に開かれた交流と共生の島を目指して							
(1) アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開	1	1	1	0	0	0	0
(2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成	6	6	5	1	0	0	0
(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献	0	0	0	0	0	0	0
(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出	4	4	4	0	0	0	0
計	11	11	10	1	0	0	0
将来像Ⅴ：多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して							
(1) 多様な学びの享受に向けた環境づくり	2	2	0	1	1	0	0
(2) 「生きる力」を育む学校教育の充実	7	5	2	3	0	0	2
(3) 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり	3	3	2	0	1	0	0
(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保	1	1	0	0	0	1	0
(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保	4	4	3	1	0	0	0
(7) その他	1	0	0	0	0	0	1
計	18	15	7	5	2	1	3
総計	188	176	113	48	10	5	12
割合(%)	-	100%	64%	27%	6%	3%	-

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	◎ 達成率が100%
「概ね達成」	○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	線 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して】

基本施策	施策展開	事業番号	交付対象事業等の名称	計画期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(1) 世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成	ア 脱炭素島しょ社会の実現に向けたエネルギー施策の推進	91	島しょ型エネルギー社会基盤構築事業	R4～R13	クリーンエネルギー導入拡大を促進するため、民間事業者が行う太陽光発電事業等に対する導入支援や地域資源の利活用促進に向けた可能性調査等を実施する。	①再生可能エネルギーの電源比率の引上げ	0.02	0.036	○	83%
	イ 資源循環生活の推進	28	島しょ型資源循環社会構築事業	H29～R8	県全域でリサイクルを推進するため、モデル事業の実施を通じて、プラスチック製容器包装や生ごみ等の資源循環可能な廃棄物のリサイクル方法や水平展開の手法等を検討し、本県に適したリサイクル体制の構築に取り組む。	①検討委員会における検討結果報告書の作成	1件	1件	◎	100%
	ウ 優れた自然環境の推進	34	緑化木保全対策事業	H29～R13	緑化木の病害虫被害の軽減を目的として、市町村が実施する保全対策に係る経費の一部を補助する。また、病害虫被害・開花状況等を調査し、保全対策の効果検証を行う。	①デイゴの枯死本数を0本に抑える。	0本	0本	◎	100%
(2) 自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用	ア 自然環境・生物多様性の保全・継承	31	世界自然遺産保全・適正利用推進事業	H25～R13	世界自然遺産に登録された沖縄島北部及び西表島において、ユネスコの諮問機関であるIUCNの勧告への対応や定期審査等も見据えながら、自然環境や生物多様性の保全と適正利用を推進するための取組を行う。	①周辺地域への計画的誘導を図るための観光コンテンツ	1件以上	1件	○	85%
	②ヤンバルクイナの推定生息範囲	220メッシュ以上	232メッシュ							
	③密猟・盗採防止のためのパトロール実施結果・トラップの発見率（世界自然遺産推薦地モニタリング計画評価）	評価A	評価A							
	④IUCNからの勧告事項や指摘事項等に対応するための地域別の行動計画の検証・見直し完了	各1回	各1回							
	⑤西表島の年間入域観光客数	33万人以内	25.9万人							
	⑥エコ認証制度ガイドライン（案）の策定	策定	策定							
	⑦イリオモテヤマネコの交通事故発生状況（世界自然遺産推薦地モニタリング計画評価）	評価A	評価B							
	⑧遺産地域内小中学校への環境教育実施率	70%	19%							

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(2) 自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用	ア 自然環境・生物多様性の保全・継承	32	マングース対策事業	H24～R13	マングースの捕獲及び希少種回復調査を行う。	沖縄県北部地域におけるヤンバルクイナの推定生息範囲	220メッシュ以上	232メッシュ	◎	100%
		33	外来種対策事業	H27～R13	沖縄県の生態系を保全するため、重点対策種（グリーンアノール、タイワンスジオ、タイワンハブ、インドクジャク、ニホンイタチ等）の捕獲等を実施する。沖縄県の生態系を保全するため、重点予防種（ヒアリ等）の侵入・定着防止を図る。県内において外来種対策に資する活動を行う団体に補助を行う。	①沖縄県北部地域でのグリーンアノール定着件数 ②やんばる地域（国頭村、大宜味村、東村）でのタイワンスジオ定着件数 ③タイワンハブの名護市以北からやんばる地域への拡散防止 ④西表島でのインドクジャク定着件数 ⑤来間島及び大神島でのニホンイタチ定着件数 ⑥外来種対策が実施されている市町村数 ⑦ヒアリの定着件数	0件 0件 0件 0件 0件 9以上 0件	0件 0件 0件 0件 21 0件	◎	100%
	ウ 多様な主体に向けた活動の環境保全等	30	自然環境の保全利用協定締結推進事業	R1～R13	事業者間の保全利用協定の締結地域を増やし、地域の自主的な保全と利用の取組を推進していくため、主に以下の内容に取り組む。 ・協定締結に対する事務的、財政的支援 ・協定締結地域間の交流や情報交換、情報共有 ・利用協定候補地への勉強会の開催等	保全利用協定の締結数	1件	3件	◎	100%
(3) 持続可能な海洋共生社会の構築	ア 海洋島しょ圏としてのSDGsへの貢献	27	赤土等流出防止総合対策事業	H24～R13	①対策状況等を把握し、流出要因の特定及び削減量の試算等を行う。 ②陸域での対策効果を検証する。 ③赤土流出問題に対する、学生への環境教育及び地域住民への啓発活動の実施。 ④NPO等団体が事業者（農業者）および地域住民と協働した地域ぐるみの対策活動を助成。 ⑤農地整備に伴い設置された砂防ダム等、既存施設の実態調査を行う。 ⑥既存施設の改修、浚渫、清掃等の維持管理を実施するとともに堆積赤土等の有効活用を検討する。	①調査結果を反映させた赤土等流出防止対策関係事業（5事業）による赤土等流出量削減 ②環境教育等への参加者数 ③赤土等流出防止活動実施団体支援数 ④対策実施地域（モデル流域）での赤土等流出削減割合	前年度比5%削減 460名 7団体 10%減	— 474名 3団体 —	○	71%
		29	サンゴ礁保全・再生総合対策事業	H24～R8	沖縄県の重要な自然環境であり、観光資源・漁業資源であるサンゴ礁の保全・再生を図るため、①地域におけるサンゴ礁保全再生活動の推進、②サンゴ礁保全・再生に係る調査研究、③オニヒトデ対策の推進に係る取組を行う。	①新たな種を用いたサンゴ群集再生の実証 ②稚ヒトデモニタリングトレーニング参加団体数 ③新規に地域協議会を立ち上げる候補地域の選定	2種以上 5団体 1地域以上	26種 12団体 1地域	◎	100%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】
「達成」・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」・・・線 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(3) 共生 社会 の 能 力 を 高 め た 海 洋	シ ア テ の 海 洋 S D G し よ こ の と の 貢 献	71	赤土等流出防止営農 対策促進事業	H24～R13	農地からの赤土等流出防止対策の 推進のため、市町村（地域協議会） の活動支援等を行う。	①支援市町村（地域協議会）数	12箇所	12箇所	◎	100%
						②農地の赤土等流出防止対策 （グリーンベルト設置）	12,000m	18,967m		
						③赤土等流出防止営農対策に関 する試験研究	実施	実施		
(4) 沖縄 文化 の 保 存 ・ 継 承 ・ 創 造 と 更 な る 発 展	ア 沖 縄 文 化 の 継 承 ・ 発 展 ・ 普 及	1	琉球政府関係文書デ ジタル・アーカイブ 事業	H25～R13	県民等が琉球政府関係文書に対す る理解を深めるため、琉球政府関係 の紙文書・資料（劣化の激しい資料 は、デジタル化の前に修復）をデジ タル化し、ホームページで公開す る。	①公開したホームページの年間 アクセス数	46,000 アクセス	48,754 アクセス	◎	100%
						②サイト利用者のアンケートで 「琉球政府文書に対する理解が 深まった」とした割合	80%	92%		
		2	在米沖縄関係資料収 集公開事業	H29～R9	県民等が沖縄戦及び米国統治時代 等の沖縄関係資料に対する理解を深 めるため、米国国立公文書館に所蔵 されている沖縄関係の資料（写真や 動画を含む）を収集し、翻訳・整理 を行い、県民等の利用に供する。	①閲覧された資料数（pv※） *資料掲載ページの閲覧回数	302,500pv	1,042,000 pv	◎	100%
						②在米沖縄関係資料に対する理 解（サイト利用者アンケートの 満足度）	80%	88%		
		157	しまくとぅば普及継 承事業	H26～R13	しまくとぅばの普及・継承を図る ため、以下の取組を実施する。 ・普及センターの運営、人材養成講 座の実施、民間への補助、読本の配 布など、各地への普及促進の取組み を行う。 ・普及推進委員会、県民意識調査に より取組みの効果検証を行う。 ・県民大会（功労者表彰）、普及イ ベント開催等の気運醸成の取組みを 行う。	①講師養成講座実施回数講座の 修了者	75名	56名	○	87%
						②イベント参加者数	1,670人	1,845人		
		160	しまくとぅばアーカ イブ事業	R4～R8	沖縄県内において、各地域のしま くとぅばを調査・収集し、また音 声・映像の収録及び教材作成によ り、しまくとぅばの保存に繋げる。 (1)各地域ごとの文法的事項が織り 込まれた文法調査票の収集 (2)文法調査票と連動した教材の作 成 (3)教科書に掲載されている歌、文 学的文章の収録 (4)自然談話の収録 (5)各題材の公開（前年度実施分）	①文法調査票の収集	44地域×2 種	44地域×2 種	◎	100%
				②文法調査票と連動した教材ひ な形（小学校高学年）の作成	1セット	1セット				
				③教科書掲載の歌、文学的文章 の収録	50地域	50地域				
				④自然談話の収録	2話	2話				
		161	沖縄食文化保存普及 継承事業	R4～R8	沖縄の伝統的な食文化の保存・普 及・継承を図り次世代へ継承すると ともに観光資源としての活用に繋 げ、県民がその価値を再認識し、一 体となって受け継いでいく気運醸成 を図る取組みを行う。	①琉球料理伝承人等育成又は フォローアップ	70人	169人	○	99%
					②出前講座モデル事業目標参加 人数	100人	94人			
					③食文化HPページビュー	50,000件/ 年	128,084件 /年			
					④琉球料理が味わえる店認証	30件	30件			
		162	琉球王国文化遺産集 積・再興事業	H27～R13	模造復元品を製作するための調査 研究、科学分析、原材料調達、試 作、成果発信等	①模造復元の本製作に必要な科 学的根拠、原材料の確保	35点	35点	◎	100%
					②科学分析等で得られた知見の 発信	1回	4回			

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展	ア 沖縄文化の継承・発展・普及	188	琉球王国外交文書等の編集刊行及びデジタル化事業	H24～R13	<ul style="list-style-type: none"> 県民等の琉球王国交流史への理解を深めるため、琉球王国外交文書（「歴代宝案」）等ほか交流史料の編集刊行および普及活動を行う。 琉球王国交流史資料のデジタル化、デジタルアーカイブの拡充、コンテンツの充実を図る。 琉球王国交流史に関するウェブ教材を公開する。 	①琉球王国交流史関係の企画展、講座等参加者数	200人	317人	◎	100%
		189	近代沖縄史料デジタル化事業	H28～R9	<ul style="list-style-type: none"> 県民等による戦前の新聞の活用の利便性を高めるため、作成した画像データを追加公開しウェブサイトコンテンツのさらなる充実を図る。また、利用普及のためウェブ教材等の開発・公開を行う。 	①ウェブ教材のダウンロード数	209回	333回		
	イ 文化芸術の振興と文化芸術を支える環境づくり	159	沖縄文化芸術の創造発信支援事業	H24～R8	<ul style="list-style-type: none"> 1 県内の文化関係団体等に対する取組支援 本県の多様で豊かな地域の伝統芸能や文化芸術等の文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を図るため、文化専門人材の目利きのもと、県内文化関係団体等による取組（①文化芸術団体等の組織力向上・基盤強化に資する取り組み、②文化芸術を次代に引き継ぐ新たな創造発信を伴う取り組み、③文化芸術を通じて地域の諸課題解決や活性化の促進等に寄与する取り組み）を公募、審査、採択し、支援を行う。 2 文化芸術資源を活用する新たな取組の創出に向けた広報・相談 3 文化芸術人材バンクの運用・文化芸術活動の担い手プログラムの実施 	①文化芸術活動数	20件	193件		
						②ウェブサイトへのアクセス数	6,456件	42,000件	◎	100%
						③琉球王国交流史に関するウェブ教材ダウンロード数	136件	364件	○	83%
						②ウェブ教材のダウンロード数	209回	333回		
						②開設したウェブサイトへのアクセス件数	6,480件	42,000件		
						①文化芸術活動数	20件	193件		
						②文化芸術活動の享受者数	2,300人	14,726人		
						③異分野連携活動数	13件	127件		
						④本事業に対する応募件数	80件	66件		
						⑤文化芸術人材バンクの登録件数	66件	20件		
						⑥担い手育成プログラムの参加者数	25人	22人		

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展	ウ 沖縄空手の保存・継承・発展	163	沖縄県空手振興事業	H29～R13	<p>①沖縄空手流派指導体制構築事業 指導体系書等に基づいた講習会開催、県内での空手セミナー等への空手指導者の派遣、海外・県外渡航費助成。</p> <p>②沖縄空手イベント開催事業 空手関係団体と連携し、空手の日に奉納演武、記念演武祭を実施する。演武祭で行われた演武を映像化し、国内外へ「空手発祥の地・沖縄」を発信する。</p> <p>③沖縄空手県内普及促進事業 空手指導者等を県内各地に派遣する。</p> <p>④沖縄空手案内センター事業 沖縄空手に関する各種問合せに対応する窓口を開設。</p> <p>⑤沖縄空手普及・啓発事業 県内空手家を国内外のイベントへ派遣し、現地で空手演武を行う。SNS等を活用し国内外へ「空手発祥の地・沖縄」を発信する。</p> <p>⑥沖縄空手会館ミュージアム事業 収蔵資料整理件数14万件、沖縄空手の新資料の収集件数200件、展示用パネル製作6枚、沖縄空手会館資料室ロビー展の開催年1回（通年）、企画展の開催年1回（R6.11月～R7.3月）、巡回展開催1回。</p> <p>⑦聖地・沖縄空手ガイド養成事業 空手ガイド養成のテキストを製作し、沖縄空手の歴史や特徴、ゆかり地などの養成講座を開設し、認定制度を設けて、空手ガイド認定証を交付し、空手ツーリズムを確立する。</p> <p>⑧沖縄空手次世代道場継承事業 空手道場の開設及び効果的に運営するための継承プログラムを策定する。 県内道場のモデルケースや国内空手団体のカリキュラム等に関する調査を行い参考としながら、沖縄空手に適したプログラムを策定する。</p> <p>⑨沖縄空手産業連携構築支援事業（産業連携自主事業構築支援） ブランドイメージの醸成や認知度向上のためのライセンスを活用した商品展開。</p>	<p>①県内道場の門下生数（平均）</p> <p>①、④県外・海外からの空手関係来訪者数</p> <p>②空手の日記念演武祭参加者</p> <p>③出前講座等の参加者数</p> <p>⑤県外における「空手発祥の地・沖縄」の認知率</p> <p>⑥沖縄空手会館の展示施設観覧者数</p> <p>⑦-a 空手ガイド受講者 ⑦-b 沖縄空手ガイドの検定合格者</p> <p>⑧県内道場数</p> <p>⑨産業連携によるライセンスを活用した商品</p>	<p>25人</p> <p>8,900人</p> <p>2,000人</p> <p>900人</p> <p>37%</p> <p>10,900人</p> <p>a 40人 b 24人 (80%)</p> <p>373道場</p> <p>1件</p>	<p>23.3人</p> <p>8,496人</p> <p>2,221人</p> <p>1,935人</p> <p>29.2%</p> <p>7,119人</p> <p>a 30人 b 25人 (100%)</p> <p>358道場</p> <p>1件</p>	○	91%
		164	沖縄空手世界大会開催事業	H29～R13	第2回沖縄空手少年少女世界大会の開催	大会参加者数	約1,500人	1,438人	○	96%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(4) 沖縄文化の保存・継承・ 創造と更なる発展	エ 伝統工芸の振興	107	島工芸おきなわ販路 拡大推進事業	R4～R8	工芸産業の活性化を図るため、沖縄独自の魅力を活かした工芸品等の認知度向上及び販売強化を促進する。	支援対象事業者の年間売上合計額	160百万円	243百万円以上	◎	100%
		108	セルフプロデュース 力強化工芸研修事業	R4～R8	工芸事業者に対し、「自己プロデュース力」を強化する人材育成を実施する。PDCAサイクルの考え方のもと、2年を1単位とした人材育成を実施する。	受講者7割以上の者が、受講前と比較して10%の生産額増	7割	9.1割	◎	100%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】
「達成」・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」・・・線 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅱ：心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(1) 子どもの貧困の解消に向けた総合的な支援の推進	イ 貧困状態にある子どもへの支援	40	ひとり親家庭等子育て支援事業	H27～R13	放課後児童クラブ及び認可外保育施設の利用料の全部又は一部の減免を行った市町村に対し、補助金を交付することで、ひとり親家庭、生活困窮世帯の親の就労を安定させ、所得の向上を目指す。	(放課後児童クラブ) 本事業により、就労できた又は就労を継続できたひとり親の割合	80%	97%	○	91%
					(認可外保育施設) 本事業により、就労できた又は就労を継続できたひとり親の割合	80%	66%			
		42	子育て総合支援事業	H24～R13	生活困窮世帯の小中高校生に対する学習支援および養育支援	①学校以外で勉強する時間（当該事業による時間を含む。1日あたり）が増加した児童生徒の割合 ②支援対象生徒の大学等進学率 ③支援対象児童生徒の進学率（進学チャレンジ）	60%	62.3%	◎	100%
(1) 子どもの貧困の解消に向けた総合的な支援の推進	ウ ひとり親家庭等の困難を抱える保護者への支援	175	バス通学費等支援事業	R4～R13	家庭の経済環境にかかわらず、安心して学業に励むことができる教育環境の整備を図るため、低所得世帯の中高生を対象に、自宅から学校までのバス・モノレール利用を無料にする。	①通学費を理由として、希望する学校への進学を断念した生徒の割合 ②通学に係る経済的負担が軽減された保護者等の割合 ③本事業を実施した結果、教育費が充実した者の割合	0%	0%	◎	100%
		38	ひとり親家庭生活支援事業	H24～R13	ひとり親家庭に対して、民間アパートの一室を提供するなど地域の中で生活支援を行いながら、子育て支援（セミナー開催等）、就労支援、家計管理支援（債務整理等）、子どもへの学習支援等、それぞれの家庭に寄り添ったきめ細かい支援を総合的に行う。	本年度に支援機関が満了した世帯のうち自立した世帯の割合100%かつ収入が増加した世帯の割合85%	自立世帯100%	自立世帯100%	○	92%
		39	ひとり親家庭技能習得支援事業	H25～R13	ひとり親家庭の親に対して技能習得支援を行うとともに、受講中の子どもの一時的預かりを行う。	技能検定合格率（基本）那覇校 技能検定合格率（上級）那覇校 技能検定合格率（基本）うるま校 技能検定合格率（上級）うるま校	89%	100.0%		
(2) 誰もが安心して子育てができる環境づくり	ア 子ども・子育て支援の充実	44	認可外保育施設保育サービス向上事業	H24～R13	認可外保育施設の認可化移行を促進する市町村に対する運営費の補助等を行う。 認可外保育施設における指導監督基準の達成・継続、入所児童の処遇向上、保育環境の整備を促進する市町村に対する補助等を行う。	認可化移行による保育の提供体制の確保（児童数） 国の指導監督基準を満たし保育の質が確保された認可外保育施設の割合（指導監督基準達成率）	19人	0人	△	50%
		45	保育士確保対策強化事業	H27～R13	包括的に保育士の確保と定着を促進し、待機児童を生じさせない保育の提供体制を整備する。	保育従事者数（常勤換算） 令和7年4月1日時点	12,278人	12,232人		

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅱ：心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して】

基本施策	施策展開	事業番号	交付対象事業等の名称	計画期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(2) 誰もが安心して子育てができる環境づくり	子ども・子育て支援の充実	46	認可保育所保育提供体制強化事業	H24～R13	加配保育士の配置により年度途中の0～2歳児の待機児童の解消を図る。 障害児に対する保育支援員を配置することで保育士の負担軽減、定着促進及び障害児保育の質の向上を図る。	①保育士を加配することによる0～2歳児待機児童の受入可能数	170人	44人	△	63%
		47	事業所内保育総合推進事業	R6～R13	待機児童の解消と働きやすい環境の整備のため、地域型保育事業の認可を受ける施設に対する施設整備の補助を実施し、事業所内保育施設の設置を推進する。	②保育支援員を配置した障害児数	183人	191人		
	若者・子ども・子育て支援	37	被虐待児等地域療育支援事業	H25～R13	特別なケアを必要とする被虐待児や発達障がい児等やその家庭等への相談支援、専門医による助言指導等を行うことで、養育に行き詰まり、措置変更となる児童を減らす。	里親等に委託されている子どものうち養育に行き詰まり、養育が返上される児童数	5人以下	2人	◎	100%
(3) 健やかな暮らしと安心を支える充実した医療提供体制の確保	「健康・長寿おきなわ」の復活	55	生活習慣病予防対策事業	R4～R13	県民が主体的に健康づくりに取り組むための環境を整備するため、健康経営の普及に取り組む経済団体等に対する取組の支援、運動促進イベントの開催、動画配信・イベント出展等による健康づくりの普及啓発活動を行う。	①健康経営に取り組む事業所数（うち一健康経営宣言数、累計）	2,400事業所	2,030事業所	○	87%
		②食生活支援を受けた者のうち、食行動を改善した者の割合	10%	24%						
		③運動促進イベントの参加企業・団体数	80団体以上	63団体						
離島・へき地医療、救急医療提供体制の確保・充実	離島・へき地医療、救急医療提供体制の確保・充実	50	離島診療所代替看護師支援事業	H25～R13	離島における医療提供体制の維持・確保及び充実を図るため、離島診療所（県立・町立）に勤務する看護師が研修等で不在の場合における代替看護師の配置に要する経費を支援する。	年間開所日数全てにおいて看護師不在の状態がない県内離島へき地診療所	19箇所	19箇所	◎	100%
		51	離島診療所代替医師支援事業	H24～R13	県内離島へき地診療所における医療の確保を図るため、県内離島へき地診療所に配置された医師が研修への参加等により不在になる期間、代替医師を派遣する。	年間開所日数全てにおいて医師不在の状態がない県内離島へき地診療所	20箇所	20箇所	◎	100%
		52	県立病院医師確保支援事業	H24～R13	離島・へき地における医療提供体制を確保するため、沖縄県病院事業局が実施する医師確保事業等を支援する。 (1) 県立病院専攻医養成事業 (2) 無医地区医師配置事業 (3) 専門医確保事業 (4) 指導医招聘事業 (5) 離島へき地病院医師確保促進事業	医師の確保が困難な県立離島診療所9箇所において休診がない状態 離島・へき地の中核病院の主要な15診療科（北部・宮古・八重山の3病院×5診療科）において休診が無い状態	休診0 休診0	休診0 休診0	◎	100%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】
「達成」・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」・・・線 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅱ：心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(3) 健やかな暮らしと安心を 支える充実した医療提供体制の確保	療、離島の救急医療・療へき地医療の確保・充実	53	ヘリコプター等搬送体制確保事業	H24～R13	自衛隊及び海上保安庁の協力により実施している急患空輸ヘリ等への添乗医師等を派遣する添乗当番病院に対して、派遣当日に代替医師等を確保する経費を補助するほか、ヘリ等へ添乗する医師等に対する報償費等の補助などを行う。	添乗当番病院の当番日数	365日	365日	◎	100%
	オ境の保健衛生環境の向上	58	ハブ咬症治療体制整備事業	H24～R13	ハブに咬まれた場合に利用する抗毒素（医薬品）を購入し、県内医療機関に配備する。	①ハブ咬症治療に対し最低限必要な抗毒素が医療機関に適宜配備されている割合 ②県内におけるハブ咬症による死亡者数	100% 0人	100% 0人	◎	100%
(4) 心な島づくり	ウら安全・安心に暮らせる地域づくり	36	ステップハウス運営事業	H24～R13	DV被害者に対して支援居居の提供、行政機関や裁判所等への同行支援等、相談、助言、情報提供、精神科医等の専門家による心のケア等の支援を実施する。	支援期間が満了した世帯のうち就労等により経済状況の改善が図られた世帯の割合	100%	100%	◎	100%
(5) える高齢者・障害者等の充実	アら高齢者が生き生きと暮らせる地域づくり	35	離島地域における介護サービス提供体制総合支援事業	R4～R13	離島地域における介護サービスの提供確保及び基盤拡充を図るため、離島市町村及び事業所に対して事業運営等に要する経費の一部を補助する。	①離島の介護サービス提供事業所における利用率（利用者/定員） ②介護サービス事業者の離島への渡航サービス利用延べ人数 ③離島地域に整備されている小規模特別養護老人ホーム等8施設の維持	45% 5,100人 8	36.9% 10,530人 8	○	94%
(6) 多様性を尊重する共創	アジェンダー平等の実現と性の多様性の尊重	41	国際家庭相談ネットワーク構築事業	R2～R13	県と在沖米軍の関係機関との連携による相談支援体制を構築するため、以下の取組を行う。 ①相談支援事業によりケースワークを実施し課題等を抽出 ②在沖米軍の相談支援機関と県内関係機関等による会議体等におけるケーススタディ等	在沖米軍及び県内各機関等の連携による問題解決に向けたノウハウ等の蓄積件数	年間相談件数の30%	年間相談件数の65%	◎	100%
		49	国際児支援体制強化事業	H28～R13	言葉の壁など、様々な課題を抱えてアメラジアンスクールへ通う児童・生徒を、本来の学籍がある小中学校への復学を図るとともに、高校等への進学を促進するため、きめ細かい学習指導、カウンセリング等の支援体制の強化を行う。	①復学・進学を希望する高学年児童・生徒のうち、復学等する割合 ②高校等へ進学する生徒の割合	50% 100%	100% 100%	◎	100%
(8) 安全・安心な生活環境の創出	アと人流・物流の基盤の強化	3	沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業	H24～R13	①離島住民が移動しやすい環境の構築を図るため、航路についてはJR在来線並み、航空路については新幹線並みの水準を参考に離島住民の移動費用負担を軽減する。 ②入域者数の維持による地域の活性化に資するため、小規模離島及び久米島の交流人口の航空運賃の負担を軽減し、入域観光客数の増加を図る。	①離島住民負担軽減された離島住民利用者数 ②交流人口・小規模離島入域観光客数・久米島入域観光客数	航空路 422千人 航路 655千人 小規模離島 52,000人 久米島 112,000人	航空路 527千人 航路 582千人 小規模離島 集計中 久米島 88,527人	○	89%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】
「達成」・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」・・・繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅱ：心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して】

基本施策	施策展開	事業番号	交付対象事業等の名称	計画期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率	
						成果目標（指標）	目標	実績			
(8) 離島・過疎地域における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出	インフラの安全・安心の整備	56	水道基盤強化推進事業	H24～R13	水道広域化により、本島と離島の水道サービスの格差を是正し、定住条件の整備を図るため、水道広域化の早期実現に向けて必要な施設整備等の取組を実施する。	水道広域化に必要な施設整備等実施市町村数：1村（座間味島）	1村	1村	◎	100%	
	医療・福祉の確保	54	離島医療体制確保支援事業	H24～R13	離島に住む住人が、島内で専門医の診察を受診できるよう、離島診療所において専門医による巡回診療を実施する。 島外での受診が困難な患者等が島外の医療施設に通院する経済的負担を軽減するため、市町村に対する補助を行う。	巡回診療を受診した者のうち、年度末時点で島内に居住している者の割合 通院費支援制度を活用した離島患者等のうち、年度末時点で島内に居住している者の割合	100%	99%	○	97%	
	離島を結び、支える安全・安定的でシームレスな交通体系の構築	5	離島交通ヘリコプター活用支援事業	H29～R13	離島の交通ネットワークを確保するため、船舶の欠航等が発生した場合に、代替手段となるヘリのチャーターに要する経費の一部を補助する。	船舶欠航日数に対する運航日数の割合 ※天候不良等によるヘリの欠航日、無予約日を除く	100%	100%	◎	100%	
		6	離島航空路チャーター運航支援事業	R5～R13	離島住民の交通手段である離島航空路を確保維持することにより、離島の定住条件の整備を図るため、小規模離島の生活路線として運航しているチャーター便の運航に伴い生じた欠損額に対し、関係町村と協調して補助を行う。	県内離島航空路線の確保維持	14路線	13路線	○	93%	
		7	離島航空路船員確保・育成支援事業	R5～R13	離島住民のライフラインである離島航路について、船員不足の課題解決のため、船員の確保及び質の向上に資する支援を実施することで、安定的・持続的な航路の確保・維持を図り、離島の定住条件を整備する。	①就業体験回数 ②補助金受給者数（航路事業者の県外への技術研修等への派遣に要する費用の補助） ③補助金受給者数（海技免許取得等の際の研修受講等に要する費用の補助）	30回 9名 4名	5回 2名 71名	△	46%	
	(9) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決	ア 米軍基地から派生する諸問題の解決に向けた対応	25	基地周辺環境対策推進事業	H29～R13	①返還跡地の支障除去措置を適切に実施するため、返還予定米軍基地周辺15地点以上の地下水調査および過年度実施データとの比較対象表を作成するとともに、米軍基地特有の化学物質についての情報収集及び過年度に得られたリストをもとに対象物質を抽出し、有害性情報・研究結果等の情報収集、整理を行う。 ②返還時等に適切な住民参画を実施するため、自治体職員向け研修会及び県民向け講演会（セミナー）を開催する。 ③普天間飛行場周辺の有機フッ素化合物の汚染状況の調査及び有機フッ素化合物汚染源特定に係る有識者会議を行う。	①-1 返還予定基地周辺の地下水調査による汚染状況の把握 ①-2 返還予定基地における米軍基地特有の化学物質リストの作成 ②研修参加者数 ③調査結果等の汚染源周辺における市町村等の広報活動などへの活用	1件以上 1件以上 10名以上 5件	1件 5件 16名 5件	◎	100%
			26	米軍航空機騒音影響評価事業	R4～R8	米軍飛行場周辺地域における航空機騒音の夜間騒音暴露分布図を作成する。リスク評価の実施に向けて必要な情報等を整理する。	夜間航空機騒音暴露状況の把握	1地域（嘉手納飛行場）	1地域（嘉手納飛行場）	◎	100%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・線 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(1) 県民所得の 着実な向上 につながる 企業の「稼ぐ力」 の強化	ア 全産業に おける労働 生産性の向上	90	県内企業「稼ぐ力」 強化人材育成事業	R4～R13	県内企業の「稼ぐ力」を強化する産業人材育成に関する取組の支援や、従業員の所得向上に取り組む企業の認証、認証制度を活用したコミュニティ形成やPRを通して、県内企業の付加価値と生産性向上を図る。	①集合型研修（セミナー）等の受講人数	100人	305人	◎	97%
		123	データ活用プラットフォーム構築事業	R4～R8	官・民のデータ収集等によるプラットフォームの内容充実や、セミナー・ハッカソン、実証支援等により、県内産業におけるデータ活用に対する意識啓発に取り組むとともに、先進事例の創出や好事例の横展開を図る。	①データ活用プラットフォームのサービス利用企業数	20	25		
		124	沖縄DX促進支援事業	R4～R6	県内企業・団体が県内IT企業と連携して実施するDXに向けた取組を支援し、デジタル技術やデータを活用したビジネスやサービス創出などDXに向けた県内企業の取組を促進することで県内全産業のDXを加速させ、企業の稼ぐ力の向上を図る。	①経営者向けDXセミナーの実施	3回	3回		
					②DX促進補助金による取組支援	12件	13件			
	イ 地域・産業 間連携による 「稼ぐ力」と 域内自給率の 向上	98	産業間連携おきなわ ブランド戦略推進事業	R4～R13	地域の稼ぐ力の向上を目的に令和6年3月に策定した「おきなわブランド戦略」を実効性のあるものとするため、県民及び県内事業者の理解・浸透を図り、おきなわブランド戦略に沿った取組を行ってもらうためにプロモーションやセミナーの開催などを行う。	ワークショップ等の参加人数	50名	195名	◎	100%
		99	稼ぐ企業連携支援事業	H24～R13	①事業者が連携して取り組む収益力や生産性の向上に資するプロジェクトを、中小・小規模事業者等から広く公募・採択し、採択企業等に対するハンズオン支援を行うとともにプロジェクトの推進に要する経費を補助する。 ②中小企業を支援する関係機関等との連携や、各種マッチングサイト等を活用し、企業連携のマッチングについても支援する。	連携企業の労働生産性の向上	2.0%向上	7.7%向上	◎	100%
109		地域ビジネス力育成 強化事業	H27～R9	地域を支える中小企業の持続的発展のため、地域ぐるみの中小企業振興等に取り組む地域間連携体の活動を支援し、地域連携の取り組みを促進する。	事業化に向けた試作品の完成	1件	3件	◎	100%	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本施策	施策展開	事業番号	交付対象事業等の名称	計画期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(1) 県民所得の着実な向上に つながる企業の「稼ぐ力」	ウ 中小企業等の経営基盤 の強化による「稼ぐ力」の向	110	小規模事業者等デジタル化支援事業	R2～R8	県内企業の99%を占める小規模事業者を含む中小企業の労働生産性は全国最下位であり、昨今の人手不足問題も含め、中小企業を取り巻く環境は厳しい状況となっている。本事業を実施することでIT導入による業務改善を促進し、人手不足への対応や労働生産性の向上を図ることで沖縄経済の自立・戦略的発展に繋げる。 (具体的な取組) ・IT活用調査 ・専門家派遣（IT導入に関する相談支援） ・ITツール等を導入する事業者に対し、経費の一部を補助する	デジタル化支援を行った企業の件数	54件	62件	◎	100%
		111	事業承継推進事業	R3～R8	承継後の再成長・発展見据えた戦略的な事業承継を促進するため、経営課題・経営資源の見える化等踏まえた事業承継計画素案の策定支援や再成長を見据えた後継者育成支援を行うとともに、承継計画やM&Aの実行に対する経費の補助を行う。	事業承継計画素案の策定支援件数	20件	21件		
(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革	ア 「新しい生活様式／ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進	136	おきなわユニバーサルツーリズム推進事業	H30～R13	沖縄を訪れるすべての観光客が、年齢や性別、国籍、障がいの有無等に関わらず沖縄を楽しめるように、観光関連事業者による多種多様な受入環境整備を促進するとともに、本県のユニバーサルツーリズムにかかる情報発信を行い、国内外の高齢者・障がい者等の当事者のみならず、その家族・同行者等も含め沖縄観光に対する来訪意欲、満足度の向上を図ることを目的とする。	①セミナーやアドバイザー派遣事業の実施	7～9回	10回	◎	100%
		138	外国人観光客受入体制強化事業	H27～R13	①外国人観光客の利便性の確保を図るため、外国人観光客向け多言語MAPやマナーブック等を製作し、県内事業者へ配布する。 ②県民向けに、イベント、メディアを活用した外国人観光客受入意識向上のためのプロモーションを実施する。 ③ムスリムやベジタリアンなどの食の多様性への対応を目指す店舗等向けの食の多様性について理解を深めるためのセミナーの開催等を実施する。 ④インバウンドビジネスの専門家によるセミナーやハンズオン支援を実施。	①受入ツール制作業務 ・受入ツール配布数 ・県内事業者へのアンケートで、ツールが外国人観光客の対応に役立った、と回答した割合	1,000部 80.0%	2,200部 95.3%		
						②インバウンド受入強化啓発業務 ・メディアPV数 ・プロモーションの県民へのリーチ数 ・県民へのアンケートで、外国人観光客をおもてなしの心で迎え入れる意識が向上した、と回答した割合	5,000PV/ 250,000GRP 80%	64,611PV 85.8%		
						③食の多様性対応促進業務 ・セミナーの参加者数	各20名以上	35名		
						④インバウンドビジネスサポート業務 ・セミナーの参加者数 ・観光事業者に対するハンズオン支援	20名以上 5社以上	30名 10社		

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(2)	世界から選ばれる安全・安心で快適な観光地の形成と沖縄観光の推進	139	観光危機管理体制構築支援事業	H24～R13	観光地としての安全・安心を確保する」という課題に対応するため、国、市町村、OCVB、地域観光協会、観光業界等と連携して観光危機管理に関する先導的な取組を実施する。 具体的には、①観光危機管理意識の醸成、②観光客受入体制強化支援、③観光危機管理訓練の実施、④市町村の観光危機管理計画策定支援、⑤関係機関との連携体制の構築を実施する。	①専門家派遣を受ける市町村数	2市町	6市町村	◎	100%
		142	Be. Okinawa多言語コンタクトセンター運営事業	H24～R13	・英語、中国語（簡・繁）、韓国語、タイ語にて、電話（ナビダイヤル、web電話、）メール、チャット（有人対応）各種SNS、チャットボット（自動応答）のチャネルを活用し、外国人観光客に対し情報提供や通訳サポートを行う。 ・Webサイトからの県内情報、よくある問い合わせFAQを発信し、インバウンドの県内周遊サポートを行う。	コンタクトセンター利用者の満足度	80%	96.0%	◎	100%
		143	インバウンド医療受入体制整備事業	R4～R13	外国人観光客が急な病気・ケガに見舞われた場合でも、安心して沖縄観光が楽しめるような受入環境を整備として、医療対応多言語コールセンターの設置や観光事業者向けの傷病者対応、保健衛生に関するセミナーを実施することで、「安全・安心な島」の構築を図る。	インバウンド対応医療コールセンター利用者へのアンケートにおいて、外国人観光客への医療対応の役に立ったと回答した割合	80%	83.4%	◎	100%
		169	沖縄フラワークリエイション事業	H24～R13	沖縄らしい風景づくりの観点から花木等を設置し重点管理を行うことで観光地沖縄の魅力向上を図る。 ・観光地へアクセスする道路のプランター、植樹樹への植栽及び重点管理。 ・街路樹マップシステム設計	観光客に対するアンケートにおいて、観光地への主要道路としてふさわしい道路景観であると感じる、と回答した割合	80%	93%	◎	100%
ウ	多彩かつ質の高い観光の推進	140	沖縄観光コンテンツ開発支援事業	H30～R13	世界から選ばれる持続可能な観光地の形成を目指し、沖縄の地域資源（自然、文化、歴史等）を活用した多彩で質の高い観光コンテンツ開発に取り組む民間事業者等に対し、支援を行う。	R5年度に支援した事業の自走化率	60%	90.9%	◎	100%
		145	マリンレジャー魅力向上促進事業	R4～R6	セミナーを通じて沖縄のマリンレジャー事業者が観光客に提供できる魅力や価値について、磨き上げを行うとともに、プロモーションを通じて、観光客がマリンレジャー事業者の提供する安全・安心や質の高いサービス等を選ぶことができるよう取り組む。 ①マリンレジャー市場結果の分析及び周知啓発（プロモーション等） ②マリンレジャー事業者実証業務 ③セミナーの実施	観光客及び事業者の満足度向上	80%	65%	○	81%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革	ウ 多彩かつ質の高い観光の推進	146	戦略的クルーズ観光推進事業	H24～R13	質の高いクルーズ観光を推進するため、展示・商談会への出展、プロモーション、クルーズ船社等への誘致活動、寄港促進支援メニューを活用し、着地型観光の促進、周遊及び発着クルーズを戦略的に誘致に取り組むとともに、地域の受入体制の再構築・強化を図り、持続可能なクルーズ船の受入環境を構築する。	プレミアム/ラグジュアリークラスのクルーズ船の寄港回数の割合（暦年）	41.6%	35.5%	○	85%
		147	沖縄観光グローバル事業	H24～R13	<ul style="list-style-type: none"> 海外からの新規路線就航及び既存路線の復便を図るため、航空会社商談会への出展やキーパーソン招聘等を行う。 海外からの直行定期便の新規就航を促すため、インセンティブとしてチャーター便の催行や地上ハンドリングに必要な費用を支援する。 海外からの直行定期便の新規就航を促すため、インセンティブとして新規定期便の就航初期の路線の安定化に必要な支援を行う。 海外からの既存路線の復便を図るため、インセンティブとして運航再開時の地上ハンドリング費用等を支援する。 各市場から外国人観光客を誘客するため、海外旅行博に出展、航空会社や旅行会社と連携プロモーションを実施する。 外国人観光客を誘客するため、沖縄観光ブランドの動画制作及び配信を行う。 外国人観光客を誘客するため、WEBやSNSにて沖縄観光情報を多言語で発信する。 外国人観光客を誘客するため、那覇空港の国際旅客ハブ化に向けて経由便等を活用した誘客活動を航空会社等と連携して行う。 海外富裕層の沖縄誘客増加を図るため、富裕層旅行会社の招聘や情報媒体への広告出稿、海外富裕層商談会への出展を行う。 	新規路線就航	1路線	3路線	○	82%
						運航が再開した路線（既存路線の復便、定期便就航含む）	3路線	4路線（13路線・22社）		
インド、中東、北欧からの観光客の延人泊数	12,480人泊	10,723人泊								
欧米、東南アジアからの観光客の延人泊数	74,880人泊	36万6,891人泊								
台湾、韓国、中国、香港からの観光客延べ人泊数	1,160,640人泊	7,690,632人泊								
①ブランド動画再生回数 ②SNSにおけるアクション数	①200万回 ②1,700回	①860万回 ②-								
外国人空路客延べ人泊数	124.8万人	625.9万人								
連携プロモーションによる観光客数	100人	未実施								
沖縄への富裕層の送客を取り扱う旅行社	2社	2社								
148	国内需要安定化事業	H24～R13	国内観光客の安定的かつ継続的な確保に向け、戦略的な観光プロモーション活動の実施により、沖縄観光需要の新規創出と沖縄観光経験者層のリピーター化促進に取り組む。	入域観光客数（国内）	800万人	766.12万人	○	96%		

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革	ウ 多彩かつ質の高い観光の推進	150	フィルムツーリズム推進事業	H25～R13	①沖縄の自然や文化、伝統、物産等を活用した映像コンテンツを通して観光誘客を図るため、沖縄ロケを実施する映画・ドラマの誘致を行うとともに、スムーズなロケ撮影のためのワンストップサービスを提供する。 ②沖縄国際映画祭を通して観光誘客を図るため、映画祭の開催期間中におけるシャトルバス運行や海外メディア招聘等の支援を行うほか、国内外の旅行博や沖縄関連イベントにおいて、沖縄国際映画祭のPR及び沖縄観光プロモーションを実施する。	①フィルムツーリズム推進事業 映画祭等出展時の商談件数	100件	60件	○	87%
		151	カップルアニバーサリーツーリズム事業	H28～R13	リゾートウェディング挙式組数の増加を図るため、カップルアニバーサリーツーリズムを沖縄観光ブランドの一つと位置づけ、国内外に向けてプロモーションを実施する。 ・ブランディングブランドイメージ（動画、静止画等）の制作・発信 ・国内プロモーション フェア等の開催、プロモーション ・海外プロモーション フェアの開催、プロモーション ・情報発信 WEBサイト等を活用した情報発信 ・受入体制強化 県内事業者・関係機関との意見交換・情報共有等	リゾートウェディング実施組数	19,000組	20,153組	◎	100%
		152	教育旅行推進強化事業	H25～R13	沖縄への修学旅行を安定的に確保するため、沖縄修学旅行プロモーションの実施や実施予定校に対する事前・事後学習支援、商品造成の支援等を行う。また、実施時期分散化など受入体制整備に向けた取組を実施する。	①プロモーション参加人数 ②修学旅行模擬体験提供	300人 30人	301人 21人	○	85%
		153	アドベンチャーウィーク開催事業	R6	欧米の旅行会社やメディア関係者が実際に開催地のアドベンチャートラベル商品を体験し、地域関係者との商談会を実施することで、商品のさらなる磨き上げとツアー造成を促進し販路の拡大を図るため、沖縄県においてアドベンチャーウィーク2024を開催する。	外国空路客の一人当たり観光消費額	106,386円	116,605円	◎	100%
		156	文化資源を活用した沖縄観光の魅力アップ支援事業	H24～R8	沖縄特有の文化資源を活用した新たな観光メニューを確立させ、沖縄観光の誘客を図るための取り組みを実施する。 ・登録文化団体を活用したツアー組み込み等への斡旋 ・観光施設等と連携した文化体験プログラムの実施	①文化と観光の連携促進のための会議等に参加した旅行者等の人数 ②文化体験プログラムに参加した観光客数	50人 500人	185人 1,267人	◎	100%
光 の 変 革	エ の 沖 縄 観 光	135	DX観光客動態調査事業	R4～R13	観光客の行動履歴データ等から属性や季節毎の特性を把握し、ターゲットの細分化を図る。	ターゲットを絞った誘客プロモーション、観光商品・サービスの開発、観光ツアーの造成	1	4	◎	100%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本施策	施策展開	事業番号	交付対象事業等の名称	計画期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革	E DXによる沖縄観光の変革	137	観光情報基盤構築事業	R4～R8	新規のバス路線等やダイヤ改正、料金改定など、観光客が必要とする交通情報等について、最新の情報を収集・整理するとともに、交通事業者において、自ら改正内容等を更新するためのサイト等を運営し、大手のプラットフォーム等が最新のデータをDLするため、オープンデータとして提供出来る環境を構築する。 また、観光客が多く利用する空港や結節点において、交通情報等を提供できる環境を構築する。	整備したデータのダウンロード件数（新規）	300件	790件	◎	100%
		144	Be.Okinawa Free Wi-Fi推進事業	H25～R6	リダイレクトサイトのUI/UX向上、ステッカーを作成等の周知活動、オープンローミングの活用に関する検証等により、Be.Okinawa Free Wi-Fiの認知度及び利便性の向上を図る。	利用者アンケート満足割合	75.0%	69.2%	○	92%
		155	沖縄ワーケーション促進事業	R2～R13	国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図ることを目的に、県外企業等向けに「新しい生活様式」を踏まえた沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行うとともに、ワーケーション目的で来島する方などを対象として、離島・過疎地域の現状等を学び・体験するモニターツアーを実施し、離島・過疎地域ならではのワーケーションの魅力を発信していく。	①来県者のうち、ワーケーション目的割合 ②モニターツアー参加者数	3.6% 40人	1.5% 44人	○	71%
(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革	成を核とした戦略的なMICEエリアの振興	154	戦略的MICE誘致促進事業	H24～R8	沖縄MICE振興戦略に基づき、国内外での誘致・プロモーション活動を強化するとともに、沖縄MICEネットワークなど産学官と連携し、MICEの誘致活動や受入体制の整備、専門人材の育成等に取り組む。	①県外・海外からのインセンティブ旅行件数	1,200件	1,329件	○	86%
						②国内・国際会議開催件数	200件	34件		
						③MICEネットワークの強化：会員数	160団体	198団体		
						④有望展示会等の誘致	3件	4件		
						⑤展示会等の開催件数	30件	229件		
						⑥経営者向けセミナー及び従業員向け研修の開催	2回	2回		
(3) 関連産業の高度化・高付加価値化	A 産業のDXを牽引する高度化情報通信	119	ICTビジネス高度化支援事業	H25～R8	情報通信産業の稼ぐ力を強化するため、県内IT事業者が実施する高付加価値なITビジネスの開発や他産業のDXに資するデジタル技術の開発・実証等を支援することにより、産業の高度化を図る。	①ビジネスプランの課題抽出がなされた企業	6件	5件	○	94%
						②新技術の活用により自社技術が高度化された企業	8件	12件		
						③事業終了後1年以内の事業化率	50%	50%		
(3) 関連産業の高度化・高付加価値化	A 産業のDXを牽引する高度化情報通信	120	オープンイノベーション創出支援事業	R6～R8	県内企業等が最先端の技術・サービス等を持つ県内外企業等と協働・共創し、オープンイノベーションによる革新的なビジネス・サービスを創出する取組を支援する。	社会実装に向けて取り組む新たなビジネス・サービスの創出件数	3件	4件	◎	100%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(3) デジタル社会を支える情報通信関連産業の高度化・高付加価値化	関牽ア連引産す産業の情の高報D度通X化信を	121	ResorTech Okinawa推進事業	R4～R13	ResorTech EXPO in Okinawa（見本市）の開催（ハイブリッド開催）に向けた準備活動を実施するとともに、IT導入・DXに関する事例や支援施策、セミナー等の情報をWebサイトへ集約し県内企業へ発信する。	商談成約率（実績は商談成約見込含む）	8%	5.2%	未	65%
	イ 国際的な情報通信拠点の形成	114	沖縄県投資環境プロモーション事業	H26～R13	国内外企業の沖縄県への立地を促進するため、税制特例制度等の本県の投資環境をPRするための広報活動等を実施する。	①臨空・臨港型産業の新規立地数（令和4年度～令和6年度）	74社	65社	○	94%
					②情報通信関連企業の新規立地数（令和6年度）	20社	26社			
		116	テストベッド・アイランド形成推進事業	R6～R13	【実証実験サポート事業】 沖縄県で取り組む、新技術の実証実験や社会実装等を積極的に行うテストベッド・アイランドの形成を加速するため、企業等が先端技術等を活用して行う実証実験を総合的に支援することで、沖縄からイノベーションが生まれ、優れたテクノロジーや企業の集積をはかることを目的に、全国の企業等が県内で実施する実証実験をサポートする。 【テストベッド実証支援事業】 AIやIoT、ロボット等の先端技術の集積を促進することにより、イノベーションの創出につなげ、社会課題の解決等を図るため、先端技術を持つ企業等が県内で実施する実証実験に対する支援を行う。	①県外からの実証実験プロジェクト誘致（実証実験実施支援を行った企業のうち、県内に拠点がいない企業）	3件	1件	○	78%
			②県内における先端技術を活用した新たな実証実験の件数（補助）	2件	3件					
			③事業終了後の1年以内の事業化率	50%	67%					
		126	海外IT人材確保基盤構築事業	R6～R8	県内IT企業等の人材不足の解消やグローバル展開のため、海外IT人材（外国人材）とのマッチングを促進する基盤の構築に向けた取り組みを実施する。	海外IT人材の県内企業への就業者数	6名	3名	未	50%
(4) アジアのダイナミズムを臨空・臨港型産業の集積	ア 流シネットワンドワーク強化・エアなど多様な国際物流拠点の形成と	93	物流対策総合支援事業	R4～R13	島しょ県である本県の物流諸課題に対応し、国際物流拠点形成に向けた効率化・強化等を総合的に実施するために、以下の取組を行う。 (1) 新たな物流モデルの構築（コールドチェーン構築、ベースカーゴ創出） (2) 物流専門家による物流支援	①物流モデルの構築実証による移輸出量増加率	10%	100%	○	75%
					②新たな物流モデル構築	2件	1件			
		94	国際航空物流機能強化推進事業	H24～R13	国際物流拠点の形成に向けて、那覇空港の航空ネットワークを活用した物流ネットワークの構築・拡充を促進するため、沖縄から海外へ輸出する貨物量の増加や那覇空港貨物上屋の活用促進等に取り組むとともに、国際食品商談会の開催を支援する。	①貨物輸送を行う国際航空路線数（那覇空港における路線数）	6路線	5路線	未	67%
				②那覇空港からの食料品・飲料関係の輸出額（R2を基準に年5%増）	12.8億	6.5億				
	イ 産業の集積促進	95	アジア・ビジネス・ネットワーク事業	H28～R13	アジアにおけるビジネス・ネットワークを構築するため、海外企業と県内企業双方のビジネスニーズ実現に向けた連携の推進、海外企業の誘致等を促進する県内におけるサポート窓口の2つの取組を連携し、効果的に実施する。	①海外経済団体等とのビジネス連携協議に至る件数	2件	3件	◎	100%
				②サート窓口で沖縄への投資等立地に至る件数	2件	6件				

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本施策	施策展開	事業番号	交付対象事業等の名称	計画期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(4) アジアのダイナミズム 臨港型産業の集積促進 臨港型産業を取り込む国際 物流拠点の形成と臨空・	イ 臨空・臨港型産業の集積促進	112	航空関連産業クラスター形成促進事業	H25～R13	那覇空港内に整備した航空機整備施設を起点に航空関連産業クラスターを形成するため、国内外での企業誘致活動等の実施や県内教育機関等と航空関連企業間の連携を促進する取り組みを実施するとともに、アクションプランの進捗把握を行う。	①航空関連産業企業数	2社	8社	◎	100%
						②航空関連産業への県出身雇用者数	20名	33名		
		115	産業集積地形成促進事業	R4～R6	産業用地整備計画の無い市町村に対し整備構想検討を促進するとともに、既に計画のある市町村等に対し、用地の立地特性に応じた企業誘致に繋げるための、各整備地区の誘致業種等のコンセプトの整理を図るほか、早期の供用に繋げる手法等の調整等を行う。	新規共用可能面積	5ha	6.9ha	◎	100%
	ウ 進と県内事業者の海外展開	92	沖縄国際物流ハブ活用推進事業	H24～R13	沖縄国際物流ハブ機能を活用した産業振興を図るため、県内事業者等の行う商流面における海外展開を支援し、県産品等の輸出拡大に繋げる。	県内輸出事業者による沖縄からの年間輸出額の増加率（前年度比）	3.8%増	47.0%増	◎	100%
96		高付加価値・グローバル展開加速化事業	R6～R10	「稼ぐ企業」のグローバル市場への展開を推進するため、沖縄の観光地としての知名度・魅力も生かし、県産品のブランドイメージ構築、プロモーション等を行う。	県内輸出事業者による沖縄からの年間輸出額の増加率（前年度比）	3.8%増	47.2%増	◎	100%	
(5) 科学技術イノベーションの創出と次世代を担う持続可能な産業の振興	ア OISTを核としたイノベーション・エコシステムの構築	11	沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業	H27～R8	イノベーション・エコシステムの構築を目指し、オープンイノベーションを促進しイノベーションの創出を推進するため、大学・研究機関を核とした共同研究等に対し、基礎研究から事業化研究まで、段階に応じた支援を行う。産業化等に向け先端医療や感染症の分野については、重点的に支援を行う。	①県内大学等による共同研究等実施	共同研究等実施	共同研究等実施（4件）	◎	100%
					②大学等と企業の共同研究等実施（出口志向型） 大学等と企業の共同研究等の成果を踏まえた事業化に向けた企業の研究開発支援	共同研究等実施	共同研究等実施（21件）			
					③重点的な支援が求められている分野の共同研究等実施	共同研究等実施	共同研究等実施（4件）			
	12	大学発ベンチャー創出志向型研究支援事業	H29～R8	県内大学等の優れた研究成果等を実用化・社会実装に繋げるため、研究マネジメント、事業化支援に長けたコーディネーターと連携し、大学発ベンチャーの創出を見据えたハンズオン支援を行う。	事業化ハンズオン支援数	3件	5件	◎	100%	
	15	高度研究人材等活用促進事業	R4～R6	大学等の高度研究人材（ポストドク、修士課程以上人材）等の研究分野及び研究内容並びに民間企業における高度研究人材等を活用した研究ニーズをリサーチし、県内企業の研究開発ニーズと、そのニーズにマッチする研究分野・技能等を持つ高度研究人材等のマッチングを行い、これら人材を活用した企業開発研究の支援を行う。また、高専や学部生以上を対象とし、県内企業との交流を図るイベントや、県内企業が抱える課題をコンテスト方式で解決するイベント等を実施する。	①高度研究人材等と県内企業とのマッチング	2件	43件	◎	100%	
				②学生のイベント参加者数	200名	524名				

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(5) 科学技術イノベーションの創出と次世代を担う持続可能な産業の振興	たア コイ ノO スP テI シS テム シY のン 構を 築核 ・とし	16	大学発SDGs社会課題解決型プロジェクト創出事業	R4～R13	沖縄の社会的特殊事情等に対応した、大学発の社会課題解決型科学技術プロジェクト創出に向けた取組を実施する。	試験的社会課題解決型プロジェクトを通して、今後の持続的な取組への展開意欲を示す研究者数	4人	7人	◎	100%
	イ バイオ テクノロジー を活用した 産業化の 促進	14	ヒト介入試験プラットフォーム構築事業	R4～R6	小規模かつ単発的にヒト介入試験を行っている県内大学等を核とし、県内の健康食品系企業が恒常的にそれを利用できる体制を構築する。	県内食資源等を扱う企業の商品を用いたヒト介入試験の実証件数	1件	1件	◎	100%
		103	健康食品ブランド力強化普及支援事業	H28～R6	健康食品の沖縄ブランドを確立・強化し、他地域との差別化により販路拡大を図るため、業界団体と支援機関で構築したブランド化推進体制による総合的な支援を実施する。 (1) 健康食品業界団体が行うブランド認証制度のプロモーション活動 (2) 健康食品の開発から販売までのハンズオン支援 (3) ブランド確立のために必要な県産機能性素材のエビデンス調査（ヒト介入試験・文献調査等）及び活用支援	認証商品の売上げの前年比の平均値の増	5%増	6%増	◎	100%
		104	健康・医療データサイエンス人材育成事業	H31～R6	沖縄特有の生物資源等、有望なバイオデータ等の産業利用を促進するため、健康・医療産業に必要なバイオデータの解析・加工等ができる人材育成プログラムを開発し、技術者を育成する。 ・人材育成プログラムによる講座の実施 ・課題研究による研修の実施	講座終了時の測定で技術レベルが向上した割合 講座終了時のアンケートで「現場で役立っている」と回答した割合	6割以上 8割以上	92.7% 96.3%	◎	100%
		105	バイオ関連産業事業化促進事業	R4～R6	バイオ関連分野の産業化を促進するため、県内バイオ企業の製品化・事業化に向けた技術開発等を支援する。	採択企業の実用化に向けた課題に対する成果達成件数	9社	9社	◎	100%
		106	バイオ関連産業振興支援事業	R6～R9	県内バイオ関連産業の持続可能な発展を実現するため、県内外のバイオ関連ネットワークを強化し、地域一体となった研究成果の情報発信等を行い、バイオ関連産業の振興に繋げるほか、バイオ関連企業の事業化、研究開発を推進するため、バイオテクノロジーを活用した付加価値の高い製品やサービスの事業化に取り組み企業等への経営支援を行う。	企業の課題解決件数（共同研究、事業化、販路拡大等） 実証試験実施件数 資金調達件数	10件 1件 2件	11件 3件 5件	◎	100%
		99	スタートアップ・エコシステム構築支援事業	H26～R13	スタートアップ・エコシステムの構築に向けて、おきなわスタートアップ・エコシステム・コンソーシアムと連携し、スタートアップの成長支援を行う。	①スタートアップのステージ移行（起業→アーリーステージ） ②社会実装されたプロダクト数	5社 5件	10社 0件	△	50%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本施策	施策展開	事業番号	交付対象事業等の名称	計画期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(6) 沖縄の優位性や潜在的な産業の創出	スタートアップ	125	経済金融活性化促進事業	R4～R6	北部圏域の自立的発展に向け、経済金融活性化特別地区制度をインセンティブとした立地を促進するため、特区内企業の人材確保・育成に関する下記の取組を支援することで、ビジネス環境としての魅力向上を図り、更なる特区内への企業集積を促進する。	特区内への新規就業者数	15名	32名	◎	100%
	ワイヤーを生かした新事業・新産業の創出	158	琉球歴史文化コンテンツ創出支援事業	R4～R8	県内の文化芸術団体等が琉球の歴史文化に由来する文化資源をテーマとした新たなコンテンツを制作する取組について支援（補助）を行う。また、琉球の歴史文化を活用した文化産業に関する講演会、支援事業の報告会など、文化の産業化に向けた取組をPRする講演会等を開催する。	支援した取組の商品化等件数	3件	5件	◎	100%
(7) 亜熱帯海洋性気候を生かした持続可能な農林水産業の振興	ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化	78	さとうきび機械化一貫体系モデル事業	H27～R6	合理的なさとうきびの機械化一貫体系を確立し、基幹作業の受託体制強化による生産性の回復、安定化に向け、より一層の「飛躍的な省力化、作業効率化」を図るための取組を支援する。	①ハーベスタ収穫率	87.0%	88.4%	◎	100%
					②先進技術の利活用に取り組む農業法人等率	12.0%	19.2%			
		80	山羊消費供給安定化事業	H30～R7	県産山羊肉の安定供給を図るため、飼養規模拡大に伴う課題の解決を目的とし、以下のことに取り組む。 ①飼養管理技術に関する検討会の開催 ②飼養管理技術の実証試験の実施 ③飼養管理技術・疾病予防に関する講習会の開催 ④新たに導入する山羊に対して家畜購入費の補助	①飼養管理技術に関する検討会の開催	3回	3回	○	88%
					②飼養管理技術の実証試験の実施	1件	1件			
					③優良種畜の20頭増	20頭	13頭			
			④技術講習会の開催回数、講習会参加者数	4回、100人	4回、71人					
	81	沖縄アグー豚保全体制構築事業	H28～R8	豚熱、アフリカ豚熱等の悪性伝染病の脅威から貴重な固有種であるアグーを守るため、アグーの分散および凍結技術により保全体制の構築を図る。	①施設内でのアグー母豚の分娩	1回	1回	△	33%	
			②県内アグー生産農場への分散飼育又は精液の配布1戸以上	1回	0回					
			③凍結受精卵・凍結体内胚によるアグー産子の生産1産1以上	1回	0回					
	83	自給飼料生産課題解決モデル事業	H31～R6	寒地型牧草の沖縄県内各地域に対応した栽培方法を確立するため、展示園を沖縄県全域に設置し、精密な化学分析を行いながら生育状況調査を行う。また、展示園を活用して農家向け現地検討会を実施する。	①県内6地域に適応した寒地型牧草栽培マニュアル作成	1回	1回	◎	100%	
			②冬場の自給飼料生産増による畜産経営の負担軽減	1事例	1事例					
			③品種登録出願	1申請	1申請					
	84	沖縄きのこ生産体制構築事業	H31～R6	・県産アラゲキクラゲ品種登録に向けた栽培試験の実施及び栽培マニュアル作成 ・新たなきのこ品目（トキイロヒラタケ等）の市場調査及び候補品目の栽培試験の実施	①栽培マニュアル（素案）の作成	1マニュアル（案）	1マニュアル（案）	◎	100%	
			②新規生産品目の選定	1品目	1品目					
			③品種登録出願	1申請	1申請					

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(7) 亜熱帯海洋性気候を生かした持続可能な農林水産業の振興	ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化	86	サンゴ礁漁業におけるSDGsブランド化推進事業	H24～R8	・県内各産地における資源管理の重要対象種について、持続可能性を科学的に評価し、資源管理施策へ反映する。 ・これらの対象種について、持続可能性を付加価値としたブランド認証や販路拡大による流通促進をすることで、本県における資源管理の推進と高付加価値化を両立させる。	①評価対象種2魚種を特定し、資源評価報告書を作成する。	報告書2件	報告書2件	△	67%
		87	沖合操業の安全確保支援事業	H24～R7	漁業者の安全操業を確保し、緊急時の迅速な通報体制を整備するため、広域通信が可能な無線機の設置に対する支援を行う。	長距離用無線機の整備率5ポイント増 (R5: 66%→R6: 71%)	71%	70%	○	99%
		88	県産ウニ復活プロジェクト事業	R5～R9	県内で天然資源が枯渇状態にある介類（シラヒゲウニ、シャコガイ類等）の持続的利用のため、完全養殖の技術開発と実用化、大量生産手法の開発に向けた条件整備を行う。	介類の種苗生産数	36.4万匹	27.0万匹	○	74%
	ウ 多様なニーズに対応するフードバリエーションの強化	67	地域農林水産物活用支援事業	H30～R6	県産農林水産物を活用した「売れる商品」づくりに継続的に取り組むことのできる事業者の育成および他産業との連携強化支援を行う。	商談会参加事業者数	5件	10件	◎	100%
		68	農林水産物条件不利性解消事業	H24～R13	本土との直接的結末点をもたない構造的な地理的不利性による取引条件の抜本的な改善を図るため、 ①他産地との価格形成に関する競争条件の平準化を図るための輸送費の補助、 ②北部・離島地域における条件不利性の改善を図るため域外出荷コストの輸送費相当分を補助、 ③持続可能な流通構造の確立に向けてモーダルシフトの促進を図るための必要な措置を実施する。	県外出荷販売額	1.02	0.9	○	94%
						船舶輸送比率	66%	67%		
		69	県産農林水産物輸出体制構築事業	H30～R6	海外市場における県産農林水産物の輸出体制構築を目指し、定番化プロモーション、ブランディング強化、新規市場調査、輸出産地支援等を実施する。	沖縄からの農林水産物及び加工品の輸出額	48.9億	41.0億	○	78%
	75	分蜜糖振興対策支援事業費	H24～R13	さとうきび生産農家の収入を確保するため、分蜜糖製造事業者に対して、気象災害等による製造コスト上昇分の支援、製糖設備の整備支援等を行う。	輸出に結びついた事業者の件数	5件	22件			
					設備の部分更新による操業体制の安定化により適正時期での操業開始を達成した分蜜糖工場	9工場	9工場			
	76	含蜜糖振興対策事業費	H24～R13	さとうきび生産農家の収入を確保するため、含蜜糖製造事業者に対し、含蜜糖製造コストの不利補正、製糖設備整備、安定供給等に対する支援を行う。	全量買い入れを行った含蜜糖製糖工場	8工場	8工場	◎	100%	

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】
「達成」・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」・・・繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(7) 亜熱帯海洋性気候を生かした持続可能な農林水産業の振興	るウ フー ド多 様な ニ ー ズに 対 応 す の 強 化	77	沖縄黒糖販路拡大推進事業	R2～R6	業界団体及び黒糖製造事業者において黒糖の販路拡大の支援が必要なことから、県内外における商談会の実施や、沖縄黒糖を使用した商品開発等の支援などを通して、新たな需要開拓に取り組む。	沖縄黒糖を使用した商品の生産・販売を行う企業数	4社	5社	◎	100%
		79	沖縄県産豚肉消費活性化事業	R2～R6	沖縄県のアグーブランド豚肉を県外消費者にPRすることでアグーブランド豚肉の認知度向上及び販路拡大を図る。	アグーブランド豚肉を県外に販売する商談の成立件数	2件	7件	◎	100%
	オ 農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進	59	AIを活用した作物障害画像診断に向けた体制整備事業	R4～R8	人為的な病害虫及び栄養障害作物を作成し、画像データを集積する。現場での画像データも同時に集積する。	統合データベースに用いる画像データ数	15,000枚	26,692枚	◎	100%
		60	地域を支えるサトウキビ大規模栽培体系構築事業	H30～R8	・収量への影響が少ない省力技術の開発、植付け技術の開発、体系案の提示と検証 ・農業機械の自動操舵およびドローンによる各種作業の実施と作業時間、面積の検証 ・新規育種素材を活用した交配後代集団の特性調査	①収量への影響が少ない省力技術のリスト化 ②農業機械の自動操舵およびドローンによる各種作業の検証 ③新規育種素材を活用した交配後代集団の特性調査、圃場での評価	実施	実施	◎	100%
		61	持続可能な沖縄型果樹生産技術開発事業	H25～R8	・収穫期予測技術開発に向けて、画像データの蓄積を行い、予測に必要な生育基準点の検出法を開発する。 ・可視化データを活用した感覚的に理解しやすい栽培マニュアル作成のため、優良生産者圃場を選定し、その施設内環境データおよび樹体情報を収集する。 ・鮮度保持、1次加工製造技術、安定供給技術の開発にむけた基礎特性の把握や安定生産に向けた栽培技術開発を行う。 ・新規品目による栽培技術開発に向け、新規品目の評価を行うとともにゲノム情報を活用したバインアップル等のスマート育種システム導入を目指す。	①栽培ステージ毎の画像データの蓄積 ②マンゴー優良生産者圃場において施設内環境および樹体データの収集 ③鮮度保持技術の開発にむけた実証試験およびヒートポンプ（HP）を活用したマンゴーの早期安定着花技術の開発 ④新規品目評価およびマンゴーの品種開発に向けた交雑確認	2品目、各1000枚以上 1品目、5生産者以上	2品目、各1000枚以上 1品目、5生産者	◎	100%
		62	労働力不足と環境負荷軽減に対応する沖縄型園芸農業技術開発事業	H30～R8	①病害虫に強く作業性に優れたゴーヤーの品種育成を行う。 ②野菜類（サマインゲン等）において作業の省力化と環境負荷軽減に関する栽培技術の検討を行う。 ③病害虫に強く作業性に優れた花きの品種の検討を行う。 ④花き類における省力的防除方法、環境負荷を軽減する施肥条件の検討を行う。	①ゴーヤーの父母本候補を2系統以上選定する。 ②野菜の省力的減栽培技術に関する試験成績を1件以上報告する。 ③有望なキク類を3系統以上選抜する。 ④花きの省力的栽培技術、環境負荷軽減技術に関する試験成績を各1件報告する。	2系統以上 1件以上 3系統以上 2件	2系統 2件 4系統 2件	◎	100%
		63	沖縄アグー豚ゲノム育種推進事業	H25～R7	沖縄アグー豚の貴重な遺伝資源を維持・増大し、更なる生産振興を図るため、遺伝的多様性を維持しつつ肉質と生産性の改良を両立したゲノム育種改良手法を確立するための取組を実施する。	繁殖性について、ゲノム情報と血統情報を考慮した育種改良手法の検証	育種改良手法の検証	育種改良手法の検証	◎	100%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(7) 亜熱帯海洋性気候を生かした持続可能な農林水産業の振興	オ 農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進	64	持続可能な森林造成支援システムの構築事業	R2～R8	耕作放棄地等造成未利用地（非農地）を造林地として有効に活用するため、前植生及び土壌調査箇所において樹木を植栽し、初期成長を調べる。また、既存の造林地において生育不良の箇所を調査（土壌、環境）し、生育不良となった原因を検討する。	植栽木を調査することにより土壌改善手法を選定	1手法	1手法	◎	100%
		65	オキナワモズクの生産底上げ技術開発事業	H29～R8	モズク養殖生産量の安定化の為、高水温耐性等を有する候補株を新たに3株選抜し、その機能性成分特性を確認する。	①高水温耐等を有するオキナワモズク候補株を3株選抜 ②候補株の機能性成分と遺伝的特性把握、養殖試験による品質の確認	3株	3株	◎	100%
		66	ミーバイ養殖高度化に向けたガンジュー（健康）評価事業	H27～R8	養殖生産者の経営安定を図るため、血液分析等を取り入れた健康状態評価に関する研究を行う。	血液性状と給餌飼料の調査の継続 健康状態の指標となり得る血液成分の候補の選定	養殖魚3ヶ月以上、試験魚10ヶ月以上 選定の実施	養殖魚8ヶ月、試験魚11ヶ月 選定の実施	◎	100%
	キ 魅力と活力ある社会への農山漁村地域の振興と	70	特別栽培農産物認証等推進・普及事業	H31～R6	特別栽培農産物認証などの環境保全型農業のさらなる推進を目的に、特栽培水準の栽培技術に関するマニュアル作成のための実証を行う。また、生産者や関係機関に制度の周知や栽培技術の普及を図る。 有機JAS水準の栽培可能性を検証する。	環境保全型農業の実践数（累計）	2,127件	2,066件	○	97%
		82	沖縄型耕畜連携推進事業	H29～R6	本県の酪農経営の課題のひとつとなっている家畜排せつ物処理問題について、現状・課題を分析し、具体的な対策方針を策定・普及することで、耕畜連携の体制を推進し酪農振興を支援を図る。 ①作物栽培試験 ②モデル地区における耕畜連携推進	①液肥散布による飼料作物の栽培試験を実施 ②意見交換会開催	1期 1回	1期 1回	◎	100%
	2(8) 次産業と県産品の振興	ア 多様なものづくり産業の振興	100	産学官連携製品開発支援事業	H24～R6	県内企業を中心とした産学官連携等共同体による本県の地域資源等を活用した製品開発プロジェクトに対して開発費の補助を行うとともに、専門人材によるハンズオン支援や製品開発に向けて必要な講座を実施し、競争力の高いものづくり産業を創出する。	事業化に向けた試作品の完成	3件	3件	◎

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】
 「達成」・・・◎ 達成率が100%
 「概ね達成」・・・○ 達成率が70%以上100%未満
 「一部達成」・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
 「未達成」・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
 「繰越」・・・線 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本施策	施策展開	事業番号	交付対象事業等の名称	計画期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(8) 地域を支える第2次産業と県産品の振興	ア 多様なものづくり産業の振興	102	ものづくり県内受注・生産性向上支援事業	R6～R8	県内製造業における域内経済循環の拡大や収益力強化を図るため、県内企業間マッチング支援及び、受注に繋げるための専門家派遣による課題解決、生産性向上に向けた技術開発、製造現場の改善や省力化に関する人材育成を実施する。	マッチングによる新規県内取引の成約件数	6件	10件	◎	100%
	イ 県産品の売上げ拡大促進	97	稼ぐ県産品支援事業	H24～R13	県産品の県外への販路拡大を図るため、プロモーションや稼ぐ力向上に向けた専門アドバイザーによる指導・助言等、県産品の販路拡大に向けた総合的な支援を行う。	目標売上を達成した補助事業者の割合	67%	42%	未	63%
		101	琉球泡盛新発展戦略事業	R3～R6	琉球泡盛の振興を図るため、業界の実施するプロモーション活動や個別酒造所に対する企業特性に応じた戦略的な支援を実施する。	①泡盛の出荷量<30度換算年度> ②泡盛製造業 営業黒字企業数	13517KL 21者	12445KL 20者	○	94%
(9) 世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成	ア スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	165	スポーツツーリズム戦略推進事業	H24～R13	スポーツを通じた観光誘客を推進するため、スポーツイベントの創出支援、スポーツ旅行に係るプロモーション、プロ野球キャンプ・サッカーキャンプに係る情報発信、スポーツコンベンションに係る問い合わせ対応、スポーツコンベンションの誘致等、サイクルツーリズムの推進を図る。	①スポーツイベント支援事業によるイベント参加者数 ②スポーツコンベンション参加者数（県外、海外） ③プロ野球キャンプ等を目的とした県外観光客数 ④競技連盟（各国代表クラス）の合宿数 ⑤スポーツキーパーソン招聘や合宿実証等に取り組んだ団体のうち定着件数 ⑥プロサッカーキャンプを目的とした観光客数 ⑦サッカーキャンプ件数 ⑧100km以上のサイクリングルートの選定	1,100人 5.4万人 94,400人 33件 2件 17,185人 28件	12,575人 7.4万人 120,000人 21件 2件 14,600人 25件	○	92%
		166	スポーツアイランド沖縄形成に向けた付加価値構築支援事業	R4～R13	スポーツ関連産業の振興を図るため、スポーツと各種産業の連携による事業に対して、補助金を交付し、新たなビジネスモデルの創出や付加価値の向上を促す。	スポーツ・ヘルスケア関連産業の創出に向けたビジネスマッチング件数	75件	72件	○	96%
(10) 力を生かす島々の資源・魅力を引き出す産業振興	イ した地域資源を活用	20	離島特産品等マーケティング支援事業	H24～R13	離島地域が抱える不利性の克服を図るため、離島特産品等に関し、販売戦略の構築・実施について外部専門家による指導等を行うことで、少量・多品種、高付加価値商品の販路を拡大する。	補助事業者における1事業者あたりの新規取引先増加数（成約見込み数を含む）	10件	19.4件	◎	100%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・線 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本施策	施策展開	事業番号	交付対象事業等の名称	計画期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興	ウ 持続可能で質の高い離島観光の振興	149	離島観光活性化促進事業	H24～R13	離島への観光客流入促進を図るため、 ①定期便未就航路線の国内チャーター便を利用した離島旅行商品、又は、離島定期便未就航路線の往復航空券に対し、支援を行う。 ②航空会社と連携した離島情報の発信や情報発信ツールの制作、メディアを招聘したPRなど、離島の認知度を向上させる取組みを行う。 ③県外イベントへの出展や広告出稿、宣伝ツール制作等による観光PRなど、離島観光のプロモーションを行う。	離島1人当たり観光消費額	宮古 95,532円 八重山 95,925円 久米島 69,147円	宮古 108,826円 八重山 110,968円 久米島 80,917円	◎	100%
誰もが安心して働ける環境づくりと多様な人材の活躍促進	ア 雇用機会の確保と多様な人材の活躍促進	128	県内企業人材育成応援事業	R4～R13	従業員が働きがいを感じ、スキルアップやキャリア形成を行う事ができる人材育成に優れた企業の拡大を図るため、県内企業の人材育成の取組を支援する。具体的には以下の取組を実施する。 ①沖縄県人材育成企業認証制度の実施 ②人材育成推進者養成講座等の実施 ③沖縄県人材育成企業認証制度の周知広報 ④企業開拓、企業への認証取得支援	人材育成認証企業数	20社	26社	◎	100%
		129	就職困難者等就労支援事業	H25～R13	就職困難者を就労に繋げることを目的に、専門の相談員が個々の相談者の状況に応じた就労支援等を行う。	本事業による就職率	50% (554人)	44% (483人)	○	87%
		130	女性の就職総合支援事業	H24～R13	個々の女性求職者の抱える状況や職業経験、職業能力に応じた就職支援を行うことにより、女性の労働参加を促進し、安定的な雇用につなげることを目的とする。	就職者数	40人	36人	○	90%
	イ 多様な働き方環境づくりの促進と働きやすさ	131	正規雇用化促進事業	H24～R13	非正規雇用割合の改善を図るため、専門家派遣による経営基盤強化や職場環境の改善等を含めた採用活動の支援を行う。また、経営者向けセミナー開催による意識啓発を行い、正規雇用化の機運醸成を図る。	専門家派遣（中小企業診断士等）による正規雇用化数	75人	101人	◎	100%
133		非正規労働者処遇改善事業	H28～R13	非正規労働者の働きやすい職場環境を整え、働き続けられる環境整備を図るため、専門家派遣による就業規則の見直し等を支援するとともに、使用者向けセミナーの開催により労務管理能力の向上を図る。	①専門家派遣による不合理な待遇改善を解消するための就業規則、賃金規程等の整備率	100%	100%	◎	100%	
						②セミナー参加による不合理な待遇改善の取組実施の割合	80%	94%		

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(1) 誰もが安心して働ける環境づくりと多様な人材の活躍促進	ウ 若年者の活躍促進	127	若年者活躍促進事業	R4～R13	若年者が、意欲・能力に応じた適切な職業を選択しキャリア形成を図るとともに、社会経済の重要な担い手としてその能力を最大限に発揮し活躍できる環境を創出するため、若年者の就業・定着の促進、就業意識啓発等の推進、県内就職の促進に向けた取組を実施する。	【総括（細事業の合計）】 本事業の就職支援による就職者数	705人	604人	○	93%
					【若年者ジョブトレーニング事業】 本事業の就職支援による就職者数	40名	41名			
				【若年者県内就職促進事業】 県内中小企業への就職内定者数	65名	68名				
					【新規学卒者等総合就職支援事業】 就職内定者	600名	584名			
					【未来の産業人材育成事業】 取組の前後で比較した就業意識に対する前向きな変化	15ポイント	10.8ポイント			
					【未来の産業人材育成事業】 取組の前後で比較した各産業の印象に対する肯定的な変化	15ポイント	24.9ポイント			
		134	若年無業者等職業基礎訓練事業	H24～R13	無業状態にある15～49歳までの若年者に対し基礎的な職業訓練を実施し、無業状態の改善を図る。若年無業者等の職業的自立を図るため、ニーズに見合う適切な基礎的な職業訓練を以下のとおり実施する。 ・実践能力習得訓練 ・知識・技能習得訓練 ・知識・技能習得及び実践能力習得訓練	無業状態より改善した人数： 40名以上（80%以上）	80%	95%	◎	100%
で 可 る 女 性 環 境 が 活 躍 す る	エ 可 る 女 性 環 境 が 活 躍 す る	132	働く女性応援事業	H27～R13	女性を取り巻く労働環境の改善を図り、女性が働きがいをもって仕事に取り組むことができる環境づくりを推進するとともに、仕事に対して女性が抱える不安・悩みの改善・解消に向けた支援を行う。	①沖縄県の女性の離職率	25.8%	18.3%	○	96%
						②女性の平均勤続年数	10.0年	9.2年		

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	達成」・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」・・・○ 達成率が70%以上100%未満	
「一部達成」・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合	
「未達成」・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合	
「繰越」・・・繰 事業を繰り越しているため、評価対象外	

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
⑫ 持続 可能な 発展 と県 民生 活を 支え る社 会基 盤の 高度 化及 び ネッ トワ ーク の形 成	エ シ ム レ ス な 交 通 体 系 の 整 備	4	シームレスな陸上交通体系構築事業	H24～R13	<p>慢性的な交通渋滞の緩和などに向けて、自家用車から公共交通への利用転換を促進させるため、以下の取組を実施する。</p> <p>①【基幹バスシステム構築に向けた調査検討】伊佐以北へのバスレーン延長に向けた地元住民等との合意形成、関係機関との協議を実施する。</p> <p>②【公共交通利用促進に向けた調査検討】定時・定速性の実現に向けた調査を実施する。</p> <p>③【ノンステップバス導入補助】バス事業者が乗降性に優れたノンステップバスを導入する際の購入費を補助する。</p> <p>④【公共交通利用促進に関する広報活動】ラジオCM及び新聞広告等の広報及び啓発活動の実施する。</p> <p>⑤【交通コストの負担軽減】バス・モノレール等、公共交通間の乗り継ぎ割引等の計画を作成する。</p>	<p>①バスレーン延長エリアにおける交通環境の変化に伴う事前調査の実施</p> <p>②バスレーン延長エリア定時・定速性に資する新規路線の実証実験の開始</p> <p>③ノンステップバスの導入割合</p> <p>④広報用HP等のアクセス数</p> <p>⑤乗り継ぎ割引等に係る費用負担方法の基本計画（方針）の作成</p>	1件	1件	△	40%
⑬ 駐 留 軍 用 地 跡 地 の 有 効 利 用 の 推 進	イ 駐 留 軍 用 地 跡 地 利 用 の 早 期 着 手 に 向 け た 取 組 の 推 進	8	大規模駐留軍用地跡地利用推進費	H24～R13	<p>普天間飛行場等駐留軍用地跡地の円滑な利用を図るため、返還前の早期の段階で跡地利用計画の策定等に向けた調査・検討を行う。</p>	跡地利用計画等が策定された地区の数（累計）	5地区	5地区	◎	100%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅳ：世界に開かれた交流と共生の島を目指して】

基本施策	施策展開	事業番号	交付対象事業等の名称	計画期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(1)	イ	48	沖縄平和啓発（継承）プロモーション事業	H31～R13	悲惨な沖縄戦の実相や歴史的教訓を正しく次世代に継承するとともに、平和を希求する「沖縄のこころ」を国内外へ発信するため、ワークショップや県外シンポジウム、米軍統治時代の20名の証言編集・WEB公開、他言語版貸出用Blue-rayの作成するとともに、沖縄、広島、長崎、韓国・台湾・ベトナム・カンボジアの若者たちによる共同学習を実施。	①ワークショップアンケートで「平和への理解がより深まった」と回答した割合	70%	98%	◎	100%
						②シンポジウムアンケートで「平和への理解がより深まった」と回答した割合	70%	88%		
(2)	ア	168	世界のウチナーネットワーク強化推進事業	H29～R13	「世界のウチナーンチュの日」が制定されたことを踏まえ、同記念日の定着化に向けた取組みを推進することで、ウチナーネットワークの継承・発展・強化を図る。具体的にはSNSやWEBサイト及び各種メディアを活用した周知広報活動を展開し、併せて、世界を舞台に活躍するウチナーンチュを招聘したトークイベントや、移民の歴史を題材とした演劇公演及び移民の歴史等に関する出前講座、並びに海外県人会イベントへの芸能指導者派遣等を実施する。	①イベント来場者に対するアンケートにおいて、世界各地に存在するウチナーンチュへの興味・関心が高まったと回答した割合	80%	95%	◎	100%
						②世界のウチナーネットワークWEBサイトアクセス数	31,015件	32,648件		
(2)	ア	181	国際性に富む人材育成事業	H24～R13	世界の多様な地域への長期海外留学、交流先や目的について焦点化した短期海外研修、ICTを活用した海外生徒とのオンライン国際交流事業を実施し、高い専門性を備えた世界で活躍するグローバル人材の育成及び多文化共生型社会の基盤づくりを図る。 ・長期海外留学R7年度派遣生の選考及び事前研修の実施 ・短期海外研修の実施 ・アジア高校生オンライン国際交流プログラム	①長期海外留学参加者アンケート調査の実施（参加者満足度、留学意識向上）	80%	100%	○	92%
						②短期海外留学参加者アンケート調査の実施（参加者満足度、留学意識向上）	80%	75%		
(2)	ア	186	「琉球・沖縄の知と心」国際発信事業	H31～R13	海外・国内での資料収集、移民ルーツ調査を実施する。また、郷土資料企画展、展示関連講演会を実施する。	②資料調査・収集を完了した地域数	1地域	1地域	◎	100%
						③展示・講演会参加者・オンライン展示閲覧者アクセス数	3,100人	20,646人		

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】
「達成」・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」・・・繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅳ：世界に開かれた交流と共生の島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成	ウ 多角的な交流の推進	10	ハワイ東西センター連携事業	H26～R13	グローバル化の進展や多様化・複雑化する社会ニーズに対応できる国際的な視野を持った人材を育成するとともに、アジア太平洋諸国とのネットワーク形成を図るため県内社会人等をハワイ東西センター及びハワイ大学大学院へ4名程度派遣する。また、同プログラムの周知広報を実施する。	アジア太平洋リーダーシッププログラム修了者または修士課程修了（取得）者	1名	2名	◎	100%
		18	沖縄・奄美連携交流促進事業	H28～R13	沖縄・奄美群島間において、両地域の交流を更に促進し、世界自然遺産登録地として一体的に評価されていることを契機に、両地域間の移動しやすい環境を構築するため、航空路4路線及び航路8路線の運賃低減の支援を行う。	両地域間を旅行（移動）したすべての旅客者数 ※住民を含めた交流人口 ※航空路及び航路	137,031人	147,113人	◎	100%
		187	高校生伝統芸能分野海外就業体験事業	H24～R13	郷土芸能に取り組んでいる高校生をハワイに派遣し、伝統芸能を活かした観光産業や歴史的・文化的施設での就業体験をおとして職業理解を深める。実演家としての技術・知識および国際的な視野を持ち郷土芸能を観光資源として活用できる人材育成に取り組む。	卒業後、生徒が郷土芸能分野、国際的分野及び教育分野に就職を希望したか	60%	75%	◎	100%
(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出	ア 離島と本島・県外との交流の促進	19	沖縄離島体験・デジタル交流促進事業	H24～R13	将来を担う児童が、離島の重要性、特殊性及び魅力に対する認識を深めると共に、各離島の受入体制を強化することを目的に、児童の離島派遣及びオンラインによる離島体験等を実施する。	離島に派遣した沖縄本島の児童に対するアンケートにおいて、「自身が居住する地域と離島の違いに対する理解が深まった」と回答した割合	85.0%	87.7%	◎	100%
		21	離島ブランディング（島あっちい・島まーる推進）事業	H28～R8	離島地域における交流人口の増大及び関係人口の創出を目的に、離島旅行商品の県外への販路拡大を図るとともに、県内外からの小規模離島地域に対する理解促進と島の活性化を図るため、離島観光産業の発展を支える人材の育成及び受入体制の強化を図る。	①Web等に掲載される自走化商品数 ②ボラケーションツアーの造成数	180件 30件	209件 49件	◎	100%
		23	離島デジタル広報・販売スキル向上事業	R4～R6	離島事業者の情報発信力を強化することを目的に、デジタル媒体を活用した情報発信や販売を促進するなど、デジタルマーケティングの導入による販路拡大を支援する。	本事業に参画した事業者のうちWebやSNS等に商品掲載できた事業者の割合	70%	75%	◎	100%
	イ 創り出す関係離島住人を促進と	22	離島ICT活用人材等高度化事業	H31～R6	離島住民を個人事業主型テレワーカーとして育成するとともに、テレワーカーの高付加価値化を目指し、各種育成や業務仲介・就業支援等を行う民間事業者へ補助を行う事により、離島における収益力強化を図る。	①テレワーカー平均報酬額（月収） ②高度化人材による業務の売上高	26,000円 5,500千円	27,317円 6,900千円	◎	100%

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】
「達成」・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」・・・繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像V：多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して】

基本施策	施策展開	事業番号	交付対象事業等の名称	計画期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率		
						成果目標（指標）	目標	実績				
(1)	多様な学びの享受に向けた環境づくり	ウ	公平な教育機会の確保と学習環境の充実	179	複式学級教育環境改善事業	H24～R7	複式学級を有する離島の小学校へ、主要教科（国語・算数・理科・社会・生活・外国語）の授業にあたる担任の補助業務を行う非常勤講師を派遣する。 また、全国へき地教育研究大会及び九州地区へき地教育研究大会へ教員を派遣し、複式学級の指導の質の向上を図る。	非常勤講師配置校における学力到達度調査平均正答数が、県平均値を超える割合（全学年、全教科）	100%	69.6%	○	70%
				185	離島読書活動充実事業	H27～R13	・移動図書館、一括貸出に使用する図書を購入する ・図書館未設置町村等に対する図書館サービス（移動図書館、一括貸出）の実施 ・当該地域の読書活動の拠点となる学校図書館等への支援を行う	①図書館未設置町村等における貸出冊数 ②利用者アンケートで、身近なところで読書ができる環境が整っていると感じた、と回答した割合 ③主体的な図書館サービス実施体制を構築した図書館未設置地域	25,177冊 80.0% 1町村	18,474冊 96.5% 0町村	△	58%
(2)	「生きる力」を育む学校教育の充実	ア	確かな学校教育学力の充身に付ける	183	教員アドバンス事業	H24～R13	児童生徒の資質・能力と確かな学力の育成や小中の学びを繋ぐため、指導方法を改善する研修会及び魅力ある学校づくり研修会を実施し、教員の教科指導力向上及び学校の組織力を高めることにより、教員の指導力向上を図り、授業改善と学校改善を推進する。 ①授業力アップ研究会 ②小中連携合同授業 ③魅力ある学校づくり研修会	①全国学力・学習状況調査の調査教科における全国の平均正答率の差 ②全国学力・学習状況調査児童生徒質問紙の授業の理解度に係る項目について、全国平均に対する達成度	-3p以内 100%	-6.4p 97%	○	72%
				180	就学継続支援員配置事業	H24～R13	県立高等学校の不登校生徒数、中途退学者の減少を図り、生徒の社会的自立と本県の貧困の連鎖を断ち切るため、県立高等学校へ就学継続支援員を派遣する。	就学継続支援員が対応した不登校生徒の状況の改善率	80.0%	84.5%	◎	100%
				184	校内自立支援室事業	H24～R13	学校内にある空き教室等を活用し、当事業により配置する学習支援員及び教職員が、不登校児童生徒、及び登校できるが教室に入れない児童生徒に対し、多様な学習の機会を確保し、児童生徒の社会的自立を促す。	当事業により学習支援員が配置された学校において、学校内外で学習支援を受けている児童生徒の割合	100%	79.0%	○	79%
(2)	ウ	質・個性を伸ばし、自立に向けた資	キャリア・ビルドアップ事業	H24～R13	1 進路未定者に対するキャリア形成支援（全校38校） 2 資質向上及び各校の就職指導体制改善のため、指導担当者向け研修を実施、就職希望者研修（2年）、就職ガイダンス（1・2年）、就職内定者向け研修（3年） 3 事前研修・県外大学、企業訪問研修・事後研修 4 高度な知識・技能、資格を要する専門職等での就業体験、専門高校へコーディネーター配置による地域連携	①県立高等学校の進路決定率	90.0%	89.7%	○	87%		
						②1学年の希望進路未定者の減少率（年度初めと年度末での比較）	50.0%	17.5%				
						③大学等進学率	46.5%	46.6%				
						④新規高卒者の就職内定率（沖縄労働局公表：3月末）	98.0%	99.4%				
						⑤事業に参加したことにより進路意識が高まった生徒の割合	90.0%	100.0%				

令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像V：多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R6成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(5) 新たな価値を創造し、 産業を牽引する人づくりと 人材の確保	ア 産業のイノベーション 創出を担う高度人材の育成 と活用	113	IT人材高度化支援事業	H24～R7	<p>（先端IT人材育成支援事業） IoT、AI、クラウドコンピューティング、サイバーセキュリティ等の高度なデジタル技術や先端的なITビジネスのノウハウを習得し、高度で単価の高い開発業務に対応できる人材を育成するとともに、他産業との連携によるDXの促進やICT技術による新たなビジネスを企画・設計・実行できる中核人材を育成することにより、県内IT企業の技術力・開発力の高度化を図る。</p> <p>（デジタル人材UIJターン支援事業） 県内企業のビジネスの高付加価値化及びデジタルトランスフォーメーション（DX）の実現を通じた県内全産業の発展を図るため、沖縄へのUIJターンを前提にしたIT技術者の採用活動を支援する取組を実施する。</p>	①IT先端技術の習得、新たなITイノベーション創出等に関する各種人材育成講座受講者数	200名	239名	○	83%
					②講座受講者のうち、アンケートにより知識や技術力が強化されたと回答	80%	95.9%			
					③マッチングにより県内企業に内定した方の人数	20名	10名			
		117	海外IT人材交流育成事業	H24～R6	<p>沖縄が国内外向け新ビジネス創出の拠点として、県内IT企業のアジア等への海外展開や海外IT企業とのビジネス創出を促進するため、市場動向の情報発信を行い、沖縄と海外を結ぶ人的ネットワークの構築を支援する。</p>	本事業参加の県内IT企業と海外IT企業間で発生した契約件数	6件	6件	◎	100%
		122	DX人材養成事業	R4～R6	<p>企業や業界等のデジタルトランスフォーメーション（DX）に必要な中核人材（DX推進リーダー、DXコンサルタント、データ活用人材等）の養成講座を実施することにより、県内企業のDXに向けた取組を牽引する多様な人材の育成・確保を図る。</p>	DX人材養成講座受講者数	200名	320名	◎	100%
	イ 人づくり 産業を担	141	観光人材育成・確保促進事業	H30～R13	<p>世界から選ばれる持続可能な観光地として沖縄県の観光客受入体制を強化するため、国内外の観光客が安心・満足する質の高いサービスを提供できる観光人材の育成・確保を支援する。</p>	研修に参加した企業数	100社	145社	◎	100%

(3) 令和5年度事業の評価結果について

令和5年度の沖縄振興特別推進交付金交付対象事業（令和6年度への繰越事業）の成果目標の達成状況は、今回事後評価を行った8事業のうち、「達成」及び「概ね達成」が6事業（75%）、一部達成が1事業（13%）、未達成が1事業（13%）となっている。

評価対象 事業数	評価 事業数					繰越
		達成	概ね達成	一部達成	未達成	
8	8 (100%)	6 (75%)	0 (0%)	1 (13%)	1 (13%)	0

※（ ）は評価事業における結果別の割合

なお、令和5年度に完了した179事業に、今回の繰越事業8事業を含めると、約9割の事業が成果目標を「達成」又は「概ね達成」となった。

評価対象 事業数	評価 事業数					繰越
		達成	概ね達成	一部達成	未達成	
187	187 (100%)	108 (58%)	55 (29%)	10 (5%)	14 (7%)	0

【参考：令和5年度事業（令和6年度への繰越事業を含めた全体）の評価結果】

※（ ）は評価事業における結果別の割合

令和5年度事業評価結果一覧表（新・沖縄21世紀ビジョン基本計画基本施策別）

新・沖縄21世紀ビジョン基本計画基本施策	評価対象 事業数	評価					繰越
		事業数	達成	概ね達成	一部達成	未達成	
将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して							
(1) 世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成	3	3	1	1	1	0	0
(2) 自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用	4	4	2	2	0	0	0
(3) 持続可能な海洋共生社会の構築	3	3	2	1	0	0	0
(4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展	13	13	6	7	0	0	0
(5) 悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成	3	3	2	0	1	0	0
計	26	26	13	11	2	0	0
将来像Ⅱ：心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して							
(1) 子どもの貧困の解消に向けた総合的な支援の推進	5	5	3	2	0	0	0
(2) 誰もが安心して子育てができる環境づくり	5	5	1	3	1	0	0
(3) 健やかな暮らしと安心を支える充実した医療提供体制の確保	6	6	5	1	0	0	0
(4) あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり	1	1	1	0	0	0	0
(5) 高齢者・障害者等を支える福祉サービスとセーフティネットの充実	1	1	0	1	0	0	0
(6) 多様性を尊重する共助・共創社会の実現	2	2	2	0	0	0	0
(7) 安全・安心・快適に暮らせる生活基盤の充実・強化	0	0	0	0	0	0	0
(8) 離島・過疎地域における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出	7	7	3	1	2	1	0
(9) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決	2	2	2	0	0	0	0
計	29	29	17	8	3	1	0
将来像Ⅲ：希望と活力にあふれる豊かな島を目指して							
(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化	9	9	6	3	0	0	0
(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革	20	20	9	9	0	2	0
(3) デジタル社会を支える情報通信関連産業の高度化・高付加価値化	2	2	1	1	0	0	0
(4) アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点の形成と臨空・臨港型産業の集積	8	8	4	1	1	2	0
(5) 科学技術イノベーションの創出と次世代を担う持続可能な産業の振興	9	9	8	0	0	1	0
(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出	3	3	3	0	0	0	0
(7) 亜熱帯海洋性気候を生かした持続可能な農林水産業の振興	29	29	17	8	3	1	0
(8) 地域を支える第2次産業と県産品の振興	5	5	2	2	0	1	0
(9) 世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成	2	2	0	1	1	0	0
(10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興	2	2	1	1	0	0	0
(11) 誰もが安心して働ける環境づくりと多様な人材の活躍促進	8	8	4	2	0	2	0
(12) 持続可能な発展と県民生活を支える社会基盤の高度化及びネットワークの形成	4	4	3	1	0	0	0
(13) 駐留軍用地跡地の有効利用の推進	2	2	2	0	0	0	0
計	103	103	60	29	5	9	0
将来像Ⅳ：世界に開かれた交流と共生の島を目指して							
(1) アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開	1	1	1	0	0	0	0
(2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成	6	6	5	1	0	0	0
(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献	0	0	0	0	0	0	0
(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出	4	4	2	1	0	1	0
計	11	11	8	2	0	1	0
将来像Ⅴ：多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して							
(1) 多様な学びの享受に向けた環境づくり	2	2	0	0	0	2	0
(2) 「生きる力」を育む学校教育の充実	7	7	3	3	0	1	0
(3) 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり	3	3	2	1	0	0	0
(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保	1	1	1	0	0	0	0
(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保	4	4	3	1	0	0	0
(7) その他	1	1	1	0	0	0	0
計	18	18	10	5	0	3	0
総計	187	187	108	55	10	14	0
割合(%)	-	100%	58%	29%	5%	7%	-

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・ ◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・ ○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・ △ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・ 未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・ 繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R5成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
(5) 悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成	ア 首里城の復興	172	首里城復興事業	R2~R13	・首里杜地区の歴史まちづくり推進により世界から選ばれる歴史、文化、観光拠点の形成 ・見せる復興として、首里城公園施設の利用者サービス向上、情報発信、首里城復興関連イベントの実施 ・沖縄県が所管する首里城跡の保全を図るため、危険度が増している継世門櫓の修復工事を実施する。	①首里城来園者数	100万人	144万人	◎	100%
					②復興関心度調査において「関心を持った」と回答した割合	80%	98%			
				③首里城跡継世門櫓の整備（屋根、外装、構造物、塗装工事）	実施	実施				
	イ 沖縄の歴史と景観に配慮した千年悠	168	無電柱化推進事業（要請者負担方式）	H24~R13	電線類を地中化することにより、緊急輸送道路や避難路確保の防災対策、都市景観の向上を図る。	観光客へのアンケートにおいて、電柱撤去後、観光地としてふさわしい景観であると感じる、と回答した割合	80%	91%	◎	100%
		171	沖縄らしい風景づくり支援事業	H24~R13	沖縄らしい風景づくりに必要な広報啓発、人材育成、景観アセスメント、景観形成に係る技術研究開発及び協議会の運営を行う。	①シンポジウム参加者	200名	393名	△	69%
					②講習会等参加者	300名	729名			
					③景観アセスメント数	10件	5件			
					④研究開発計画の策定、技術研究開発の実施	策定	—			
					⑤市町村景観計画の策定・改定数（累計）	51	48			

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】
 「達成」・・・◎ 達成率が100%
 「概ね達成」・・・○ 達成率が70%以上100%未満
 「一部達成」・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
 「未達成」・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
 「繰越」・・・繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：希望と活力にあふれる豊かな島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R5成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
生（7） 産業の 振興	立（ア） と生 産供 給体 制の 強化	72	沖縄型耐候性園芸施設整備事業	H24～R13	台風等自然災害の被害軽減を図る沖縄型耐候性園芸施設整備事業の整備を支援し、園芸戦略品目の安定生産を図る。また、既存耐候性園芸施設の補強や改修も併せて行うことで、施設本来の耐候性を維持させ、被害軽減につなげる。	令和5年度に導入した沖縄型耐候性園芸施設の令和6年度における被害率	被害ゼロ	被害ゼロ	◎	100%
						南大東島と北大東島を結ぶ海底光ケーブルの整備に向けた調査設計進捗率	100%	100%		
か⑫ 業の 振興	の（ア） 整備 と次 代の 情報 通信 基盤	17	大東地区情報通信基盤整備推進事業	H31～R7	大東地区において、情報通信基盤の高度化及び強靱化を図るため、南大東島と北大東島を結ぶ海底光ケーブル等の整備（ループ化）を行う。	陸揚管路整備工事進捗率	36%	40%	◎	100%

令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業成果一覧（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】
 「達成」・・・◎ 達成率が100%
 「概ね達成」・・・○ 達成率が70%以上100%未満
 「一部達成」・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
 「未達成」・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
 「繰越」・・・繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅴ：多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業 番号	交付対象事業等 の名称	計画 期間	事業概要	R5成果目標（指標）			評価	達成率
						成果目標（指標）	目標	実績		
（2） 校「生きる 教育の 充力実」 を育む学	エ あ時 る代 学の 校変 づ化 くに り対 の応 推す 進る 魅力	175	高等学校施設塩害防 止・長寿命化事業費	H24～R13	台風等の塩害による重度な劣化の発 生を未然に防止するため、県立高等学 校施設の外壁補修、塗装改修及び屋根 防水改修を行う。	長寿命化対策工事実施率	5.54% (20/361棟)	2.22% (8/361棟)	未	40%
		176	特別支援学校施設塩 害防止・長寿命化事 業費	H24～R13	台風等の塩害による重度な劣化の発 生を未然に防止するため、県立特別支 援学校施設の外壁補修、塗装改修及び 屋根防水改修を行う。	長寿命化対策工事実施率	1.47% (1/68棟)	2.94% (2/68棟)	◎	100%
そ の 他	そ の 他	24	沖縄振興特別推進交 付金町村支援事業	H24～R13	財政力の弱い町村が沖縄振興特別推 進交付金を最大限活用できるよう、沖 縄振興特別推進交付金の町村負担分 の一部についての財政支援を行う。	財政力の弱い町村に対する沖 縄振興特別推進交付金の交付決 定率	100%	100%	◎	100%

(4) 事業完了後における検証（後年度に効果が発現する事業）

令和5年度までに完了した事業のうち、22事業については、事業効果の発現を事業完了後の令和6年度以降としていることから、事業毎の「検証シート」において、令和6年度における成果目標の達成状況の確認や、後年度における効果発現までの取組の検証を行った。

また、「検証シート」を作成した22事業のうち、効果発現年度を令和6年度に設定している4事業の成果目標の達成状況は、「達成」及び「概ね達成」が4事業（100%）となっている。

評価対象 事業数	R6効果発現					R7以降 効果発現
	評価 事業数	達成	概ね達成	一部達成	未達成	
22	4 (100%)	2 (50%)	2 (50%)	0 (0%)	0 (0%)	18

※（ ）は評価事業における結果別の割合

事業完了後 事業評価結果一覧表（新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画基本施策別）

新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画基本施策	評価対象 事業数	R6効果発現 評価 事業数				R7以降 効果発現	
		達成	概ね達成	一部達成	未達成		
将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して							
(1) 世界に誇れる島しょ型環境モデル地域の形成	0	0	0	0	0	0	0
(2) 自然環境の保全・再生・継承及び持続可能な利用	0	0	0	0	0	0	0
(3) 持続可能な海洋共生社会の構築	0	0	0	0	0	0	0
(4) 沖縄文化の保存・継承・創造と更なる発展	0	0	0	0	0	0	0
(5) 悠久の歴史や伝統文化に育まれた魅力ある空間と風土の形成	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0
将来像Ⅱ：心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して							
(1) 子どもの貧困の解消に向けた総合的な支援の推進	0	0	0	0	0	0	0
(2) 誰もが安心して子育てができる環境づくり	0	0	0	0	0	0	0
(3) 健やかな暮らしと安心を支える充実した医療提供体制の確保	0	0	0	0	0	0	0
(4) あらゆるリスクに対応する安全・安心な島づくり	0	0	0	0	0	0	0
(5) 高齢者・障害者等を支える福祉サービスとセーフティネットの充実	0	0	0	0	0	0	0
(6) 多様性を尊重する共助・共創社会の実現	0	0	0	0	0	0	0
(7) 安全・安心・快適に暮らせる生活基盤の充実・強化	0	0	0	0	0	0	0
(8) 離島・過疎地域における安全・安心の確保と魅力ある生活環境の創出	0	0	0	0	0	0	0
(9) 米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0
将来像Ⅲ：希望と活力にあふれる豊かな島を目指して							
(1) 県民所得の着実な向上につながる企業の「稼ぐ力」の強化	0	0	0	0	0	0	0
(2) 世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革	0	0	0	0	0	0	0
(3) デジタル社会を支える情報通信関連産業の高度化・高付加価値化	0	0	0	0	0	0	0
(4) アジアのダイナミズムを取り込む国際物流拠点の形成と臨空・臨港型産業の集積	0	0	0	0	0	0	0
(5) 科学技術イノベーションの創出と次世代を担う持続可能な産業の振興	1	0	0	0	0	0	1
(6) 沖縄の優位性や潜在力を生かした新たな産業の創出	0	0	0	0	0	0	0
(7) 亜熱帯海洋性気候を生かした持続可能な農林水産業の振興	1	0	0	0	0	0	1
(8) 地域を支える第2次産業と県産品の振興	1	0	0	0	0	0	1
(9) 世界にはばたき躍動する「スポーツアイランド沖縄」の形成	0	0	0	0	0	0	0
(10) 島々の資源・魅力を生かし、潜在力を引き出す産業振興	0	0	0	0	0	0	0
(11) 誰もが安心して働ける環境づくりと多様な人材の活躍促進	0	0	0	0	0	0	0
(12) 持続可能な発展と県民生活を支える社会基盤の高度化及びネットワークの形成	1	0	0	0	0	0	1
(13) 駐留軍用地跡地の有効利用の推進	0	0	0	0	0	0	0
計	4	0	0	0	0	0	4
将来像Ⅳ：世界に開かれた交流と共生の島を目指して							
(1) アジア・太平洋地域の平和構築に貢献する地域協力外交の展開	0	0	0	0	0	0	0
(2) 沖縄を結び目とするグローバルな交流ネットワークの形成	0	0	0	0	0	0	0
(3) 世界の島しょ地域等との国際協力活動と国際的課題への貢献	0	0	0	0	0	0	0
(4) 離島を核とする交流の活性化と関係人口の創出	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0
将来像Ⅴ：多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して							
(1) 多様な学びの享受に向けた環境づくり	0	0	0	0	0	0	0
(2) 「生きる力」を育む学校教育の充実	0	0	0	0	0	0	0
(3) 多様な能力を育て、力強く未来を拓く人づくり	0	0	0	0	0	0	0
(4) 人口減少に対応し、地域社会を支える人づくりと人材の確保	0	0	0	0	0	0	0
(5) 新たな価値を創造し、産業を牽引する人づくりと人材の確保	0	0	0	0	0	0	0
(7) その他	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0
総計	4	0	0	0	0	0	4
割合 (%)	-	0%	0%	0%	0%	0%	-

※令和4年度以降に完了した事業については、「新・沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」、令和4年度以前に完了した事業については、「沖縄 21 世紀ビジョン基本計画」における基本施策別に集計

事業完了後 事業評価結果一覧表（沖縄 21 世紀ビジョン基本計画基本施策別）

沖縄 21 世紀ビジョン基本計画基本施策	評価対象 事業数	R6効果発現 評価 事業数					R7以降 効果発現
		達成	概ね達成	一部達成	未達成		
将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島を目指して							
(1)自然環境の保全・再生・適正利用	2	0	0	0	0	0	2
(2)持続可能な循環型社会の構築	0	0	0	0	0	0	0
(3)低炭素島しょ社会の実現	0	0	0	0	0	0	0
(4)伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造	0	0	0	0	0	0	0
(5)文化産業の戦略的な創出・育成	1	0	0	0	0	0	1
(6)価値創造のまちづくり	0	0	0	0	0	0	0
(7)人間優先のまちづくり	0	0	0	0	0	0	0
計	3	0	0	0	0	0	3
割合（％）	—	0%	0%	0%	0%	0%	—
将来像Ⅱ：心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して							
(1)健康長寿おきなわの推進	0	0	0	0	0	0	0
(2)子育てセーフティーネットの充実	0	0	0	0	0	0	0
(3)健康福祉セーフティーネットの充実	0	0	0	0	0	0	0
(4)社会リスクセーフティーネットの確立	0	0	0	0	0	0	0
(5)米軍基地から派生する諸問題及び戦後処理問題の解決	1	0	0	0	0	0	1
(6)地域特性に応じた生活基盤の充実・強化	0	0	0	0	0	0	0
(7)共助・共創型地域づくりの推進	0	0	0	0	0	0	0
計	1	0	0	0	0	0	1
割合（％）	—	100%	0%	0%	0%	0%	—
将来像Ⅲ：希望と活力にあふれる豊かな島を目指して							
(1)自立型経済の構築に向けた基盤の整備	1	0	0	0	0	0	1
(2)世界水準の観光リゾート地の形成	0	0	0	0	0	0	0
(3)情報通信関連産業の高度化・多様化	1	0	0	0	0	0	1
(4)アジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成	1	0	0	0	0	0	1
(5)科学技術の振興と知的・産業クラスター形成	0	0	0	0	0	0	0
(6)沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出	0	0	0	0	0	0	0
(7)亜熱帯性気候等を生かした農林水産業振興の振興	9	3	1	2	0	0	6
(8)地域を支える中小企業等の振興	0	0	0	0	0	0	0
(9)ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成	0	0	0	0	0	0	0
(10)雇用対策と多様な人材の育成	0	0	0	0	0	0	0
(11)離島における定住条件の整備	2	1	1	0	0	0	1
(12)離島の特色を生かした産業振興と新たな展開	0	0	0	0	0	0	0
(13)駐留軍用地跡地の有効利用の推進	0	0	0	0	0	0	0
計	14	4	2	2	0	0	10
割合（％）	—	100%	50%	50%	0%	0%	—
将来像Ⅳ：世界に開かれた交流と共生の島を目指して							
(1)世界との交流ネットワークの形成	0	0	0	0	0	0	0
(2)国際協力・貢献活動の推進	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0
割合（％）	—	—	—	—	—	—	—
将来像Ⅴ：多様な能力を発揮し、未来を拓く島を目指して							
(1)沖縄らしい個性を持った人づくりの推進	0	0	0	0	0	0	0
(2)公平な教育機会の享受に向けた環境整備	0	0	0	0	0	0	0
(3)自ら学ぶ意欲を育む教育の充実	0	0	0	0	0	0	0
(4)国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築	0	0	0	0	0	0	0
(5)産業振興を担う人材の育成	0	0	0	0	0	0	0
(6)その他	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0
割合（％）	—	—	—	—	—	—	—
総計	18	4	2	2	0	0	14
割合（％）	—	100%	50%	50%	0%	0%	—

【事業完了後】事業評価結果一覧表（新・沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：世界から選ばれる持続可能な観光地の形成と沖縄観光の変革】

基本 施策	施策 展開	事業名	事業 期間	事業概要	効果発 現年度	成果目標（指標）			評価	達成率
						指標	目標	実績		
(5) 次 世 代 を 担 う 持 続 可 能 な 産 業 の 振 興	イ バイ オ テ ク ノ ロ ジ ー を 活 用 し た 産 業 化 の 促 進	バイオ関連企業経営 支援事業	R4～R5	県内バイオ関連企業等の研究成 果の事業化、販路開拓・事業拡大 等を行うため、資金調達、販路開 拓、人材の確保及び育成等の課題 解決支援を行う。	R13	バイオベンチャー企業数	70社	79社	-	-
(7) 持 続 可 能 な 農 林 水 産 業 の 振 興	ア お き な わ プ ラ ン ド の 確 立 と 生 産 供 給 体 制 の 強 化	熱帯果樹優良種苗供 給実証事業	H27～ R5	パインアップル登録品種の種苗 生産および供給体制を検証すると ともに、課題を抽出し自走に向け た整備を行う。	R7	①ピタヤ新品種の種苗生産供給 体制の自走	1件	1件	-	-
						②パインアップル新品種の種苗 生産供給体制の自走	1件	-		
(8) 地 域 を 支 え る 第 2 次 産 業 と 県 産 品 の 振 興	ア 多 様 な も の づ く り 産 業 の 振 興	ものづくり生産性向 上支援事業	H24～ R5	県内ものづくりの生産性向上を 図るため、県内企業の生産技術開 発への支援および、工業技術セン ターとの共同研究等を実施する。	R7	開発終了後の全テーマが3%以 上の生産性向上	4件	2件	-	-
(12) 会 基 盤 の 高 度 化 及 び ネ ッ ト ワ ー ク の 形 成	ア 次 世 代 の 情 報 通 信 基 盤 の 整 備 と デ ジ タ ル 化 ・ オ ン ラ イ ン 化 の 促 進	離島地区情報通信基 盤高度化事業	R4	離島において、オンライン教育 や自治体の情報システムの標準 化・共通化、テレワーク、5G利活 用等のデジタル社会の推進を図る ため、地域の通信需要増加を見据 えた海底光ケーブル通信設備への 機能強化（伝送装置等の高度化） を図る。	R10	超高速ブロードバンドサービス 基盤整備率	100.0%	99.9%	-	-

【事業完了後】事業評価結果一覧表（沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅰ：沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業名	事業 期間	事業概要	効果発 現年度	成果目標（指標）			評価	達成率
						指標	目標	実績		
(1) 自然環境の 保全・再生・ 適正利用	ア 生物多 様性の	外来植物防除対策事 業	R1～R3	沖縄の生物多様性の保全及び親 光立県にふさわしい景観形成を確 保するため、在来植物の生育を阻 害するギンネムの拡散防止・駆除 技術の確立を行う。	R7	ギンネム防除対策マニュアル を活用して防除対策を行った 面積の増加	52.5ha	13.0ha	-	-
	イ 陸域 保・全 水辺環境の	返還跡地等解体作業 石綿飛散防止事業	H30	円滑な跡地利用の推進や基地周 辺住民等の健康被害の防止を図る ため、返還予定地等の解体する建 築物の屋根材、床材などの建材に 石綿が含有しているか解体現場で 分析できるようにポータブル式石 綿含有分析機器を整備する。	基地返 還後	①石綿調査の短縮期間	1か月 以上	-	-	-
(5) 文化産業の 戦略的な創出・ 育成	イ 伝統 工芸 づくり等 を活用した 感性型もの	おきなわ工芸の杜整 備事業	H26 ～R3	本県工芸産業を振興・発展させ るために必要な、技術や技法の高 度化、市場ニーズに対応した製品 開発、工芸分野の起業家の育成な どを推進する「沖縄工芸産業振興 拠点施設（仮称）」を整備する。	R8	①工芸産業従事者の施設利用 者数	延べ 2,500人	延べ 30,771人	-	-
						②施設の年間総利用者数	延べ 53,000人	延べ 84,816人		

【事業完了後】事業評価結果一覧表（沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅱ：心豊かで、安全・安心に暮らせる島を目指して】

基本 施策	施策 展開	事業名	事業 期間	事業概要	効果発 現年度	成果目標（指標）			評価	達成率
						指標	目標	実績		
(5) 米軍基地から派生する諸問題及び 戦後処理問題の解決	イ 戦後処理問題の解決	特定地域特別振興事業	H25～ R3	旧軍飛行場用地問題の解決を図るため、旧日本軍による飛行場用地の接収により、伝統・文化等の進展が阻害された地域の振興・活性化に向けた関係市町村の取組を支援する。	R8	施設利用者へアンケート調査を行い、当該施設が地域社会の復興・活性化に資する施設であると実感した旨の回答割合	80.0%	97.3%	-	-

【事業完了後】事業評価結果一覧表（沖縄21世紀ビジョン体系別）

【凡例】	
「達成」	・・・◎ 達成率が100%
「概ね達成」	・・・○ 達成率が70%以上100%未満
「一部達成」	・・・△ 達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合
「未達成」	・・・未 達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合
「繰越」	・・・繰 事業を繰り越しているため、評価対象外

【将来像Ⅲ：希望と活力にあふれる豊かな島を目指して】

基本施策	施策展開	事業名	事業期間	事業概要	効果発現年度	成果目標（指標）			評価	達成率
						指標	目標	実績		
(1) 自立的な経済の整備の構築に向けた基盤の整備	ア 核となる国際交流・物流拠点の整備	南ぬ島国際観光戦略拠点整備事業	H27～R3	狭隘化している新石垣空港国際線旅客ターミナルを中型機に対応できる施設として拡張し、外国人観光客受入体制の強化を図るため、事業主体である石垣空港ターミナル株式会社に対し、国際線旅客ターミナル施設整備工事に係る経費について支援する。	R8	①年間国際線旅客数（乗降客数）	106,400人/年間	1,107人/年間	-	-
						②ピーク時の旅客数（中型機1機相当）の受入	(片道)230人	(片道)161人		
(3) 高度化・多様化の情報通信関連産業の整備	エ	アジアITビジネスセンター（仮称）整備事業	H28～R2	県内IT産業の振興のため、県内IT企業との連携・協業による国内外向けビジネスなど、アジアと我が国双方のビジネス展開を促進する必要があることから、企業・人材等の集積施設としてアジアITビジネスセンターを整備し、沖縄ーアジア間の人的ネットワークの構築等を推進する。	R7	沖縄IT津梁パークの県有施設における平均入居率	95.2%	100%	-	-
(4) 国際物流拠点の形成となるアジアと日本の架け橋となる国際物流拠点の形成	ア 臨空・臨港型産業の集積による国際物流拠点の形成	国際物流拠点産業集積地域賃貸工場整備事業	H24～R3	国際物流拠点産業集積地域うるま・沖縄地区において、賃貸工場を整備することで、立地する企業の初期投資の軽減や早期操業を支援し、本県の製造業及び関連産業の振興を図る。	R7	賃貸工場1棟（41号棟）の雇用効果数	15名	9名	-	-
						賃貸工場1棟（42号棟）の雇用効果数	15名	10名		
(7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興	ア おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備	配合飼料製造基盤整備事業	R1～R2	飼料コストを抑制するため、大量に搬入される輸入飼料を一時保管する施設を整備する。具体的には、沖縄飼料施設利用事業協同組合において、飼料穀物保管施設（サイロ）及び純バラ出荷口の建築工事を行う。	R8	県外との配合飼料価格差を低減させる	△850円/t	△400円/t	-	-
		沖縄離島型畜産活性化事業	H30～R2	離島地域の飼養戸数及び飼養頭数の減少を改善するため、離島地域に賃貸式集合畜舎を整備する。	R7	①宮古島市において、牛舎共用開始5年後の家畜セリ市場取引頭数	4,500頭	3,409頭	-	-
				②多良間村において、牛舎共用開始5年後の家畜セリ市場取引等数	1,200頭	1,176頭				
	災害に強い高機能型栽培施設の導入推進事業	H30～R3	不安定な気候変動の影響を受けて、施設内の環境が悪化し、農作物の生育が阻害されることを防ぐため、自然災害に強い栽培施設と施設内の環境制御設備を一体的に導入し、亜熱帯性気候等の優位性を最大限に生かした施設栽培の展開を図る。	R8	気象災害による農作物の被害率	0%	0%	-	-	
安ウ全・農安心の水産物の確立	安ウ全・農安心の水産物の確立	食鳥処理施設整備事業	H28～R1	県産鶏肉の安全・安心の確保、安定供給を維持するため、県産鶏肉の衛生管理・品質管理の高度化に取り組む市町村に対し補助する。	R6	①1日当たりの食鳥処理羽数	17,000羽	14,713羽	○	93%
						②出荷製品からの食中毒等発生	0件	0件		

基本 施策	施策 展開	事業名	事業 期間	事業概要	効果発 現年度	成果目標（指標）			評価	達成率
						指標	目標	実績		
(7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興	ウ 農林水産物の安全・安心の確立	含みつ糖製糖施設近代化事業	H24～R1	製糖事業者の安定操業を確保することにより、地域の基幹産業「さとうきび・糖業」の持続的振興を図るため、製糖事業者の経営体質強化のための製糖事業者が取り組む製造コストの低減、品質の向上及び衛生管理の徹底等のための施設整備および製糖機器整備（日量50トン処理）等に対する支援を行う。	R6	全量買い入れを行った含蜜糖製糖工場	1工場	1工場	◎	100%
		乳業施設高度化整備事業	H31～R4	八重山地区の牛乳等の安全・安心の確保、安定供給を維持するため、乳業施設の再編・集約化を行い、新たにHACCP対応施設整備を行う市町村に支援する。	R9	①年間生乳処理量 ②出荷製品からの食中毒等発生	850 t 0件	691 t 0件	-	-
	オ 農林水産技術の開発と普及	海ブドウ養殖の安定生産技術開発事業	R1～R3	陸上養殖における海ブドウの夏期、冬期の品質の劣化、製品歩留まりの低下を改善するための養殖技術を開発する。	R8	年間収穫量に対する製品歩留まり	60%	52%	-	-
		野菜花き類の施設管理高度化技術開発事業	H25～H29	本県の冬春期野菜花き類の生産において、農業者の慣行栽培による生産力の限界を超えるような、積極的かつ省力的な革新的環境制御技術（EOD(End of Day) 効果や二酸化炭素施用による増収技術）を開発するための試験研究を行う。 平成25年度は、遠赤色（FR(Far Red)）光照射および二酸化炭素施用によるニガウリおよび花き類に対する効果試験を行う。	R8	①ゴーヤーの促成栽培作型の生産量（宮古地区の生産量） ②沖縄県産トルコギキョウの全出荷本数に対する1月出荷の割合	24%増 10%増	0.8%増 3.8%増	-	-
		気候変動対応型果樹農業技術開発事業	H25～H30	果樹産業の振興を図るため、気候変動に対応した果樹品種および生産技術の開発と果実加工品開発など付加価値向上技術を組み合わせ、生産から流通・加工までの一貫した沖縄型果樹産業支援技術を開発することを目的とする。 障害抵抗性型果樹優良品種の開発、花芽分化制御、病害虫防除など生産技術の開発により気候変動に強い果樹の安定生産技術の開発を目指す。また、特産果樹の鮮度保持技術の開発や加工技術の開発により、流通の健全化や多用途利用等の果樹関連産業の支援を行う。	R6～R10	①【R10成果目標】 パインアップル障害果実率 ②【R6成果目標】 中晩生マンゴーの商品化率 ③【R6成果目標】 アセローラの出荷量 ④【R6成果目標】 パインアップル果実の低温貯蔵による県外出荷量増	20%減 40%増 2倍以上 1万個以上	- 47%増 1.6倍 約16万個	○	93%
		ひる教住育生民・活サ医環境ビ・基盤の祉の向に整備け及とウ交の通充実ツ基盤強化トク	南北大東空港夜間照明整備事業	H26～R1	救急搬送における自衛隊機の受入体制の迅速化を図るため、南北大東空港において、急患搬送を実施する航空機が夜間着陸する際に必要とする照明設備を整備する。	R6	夜間着陸用照明点灯準備時間を60分から短縮	10分	10分	◎
(11) 離島における定住条件の整備	とウ交の通充実ツ基盤強化トク	離島航路運航安定化支援事業	H24～R3	航路事業者が船舶を確保する際の建造費又は購入費を補助する。	R8	県内離島航路数の維持・確保	22航路	22航路	-	-